



公共施設に関する市民アンケート

結果報告書

平成29年2月

伊勢市

目 次

調査概要.....	1
調査結果.....	2
回答者の属性.....	2
公共施設の利用状況について.....	4
老朽化問題に取り組むことの必要性について.....	10
公共施設等総合管理計画の認知度について.....	12
公共施設の建て替え費用に対する市民の費用負担について.....	14
老朽化問題に取り組むにあたっての今後の方策について.....	16
施設数を削減する際の優先順位について.....	18
特に力を入れて取り組むべき施策について.....	20
調査票.....	23

調査概要

1 調査の目的

伊勢市では、多くの公共施設（学校、集会施設などの建築物）で老朽化が進み、今後は大規模な改修や建替えが必要となります。しかし、人口減少、少子高齢化の進行により、厳しい財政運営を強いられており、全ての公共施設を維持していくことは困難な状況となっています。

このような課題の解決に向け、市民の皆様のご意見をお聞きし、今後の公共施設のあり方を検討するに当たっての参考とするため、アンケート調査を実施しました。

2 調査項目

- ・ 属性（性別、年代、職業、居住地域、居住年数）
- ・ 公共施設の利用状況について（利用回数、利用が少なかった理由）
- ・ 老朽化問題に取り組むことの必要性について
- ・ 伊勢市公共施設等総合管理計画の認知度について
- ・ 公共施設の建て替え費用に対する市民の費用負担について
- ・ 老朽化問題に取り組むにあたっての今後の方策について
- ・ 施設数を削減する際の優先順位について
- ・ 特に力を入れて取り組むべき施策について

3 調査方法等

調査対象：市内にお住まいの平成13年4月1日以前にお生まれの方（今年度16歳以上となる方）

抽出方法：住民基本台帳から無作為抽出により3,500人を抽出

※すべての人や物から一定割合の人や物を抽出し、調査する方法を「標本調査」といいます。

本市のアンケート調査ではこの標本調査の方法を用いており、伊勢市の人口129,169（平成28年5月末時点の住民基本台帳）を対象とする場合、許容できる標本誤差を3%とすると、必要な標本数（回答数）は約1,058となります。この必要標本数を確保するために必要な最低送付数は、アンケート回収状況より回収率を約33%と見込むと、3,206通となります。したがって、3,500通を無作為抽出し送付することが本市の調査では適切だと考えられます。

$$3,500 \geq 3,206 = \frac{\text{約1,058 (本市の人口129,169人に対し、必要な標本数)}}{33\% \text{ (アンケート回収状況から見込む回収率)}}$$

調査方法：郵送配布・郵送回収

実施期間：平成28年6月28日～平成28年7月19日

4 回答状況

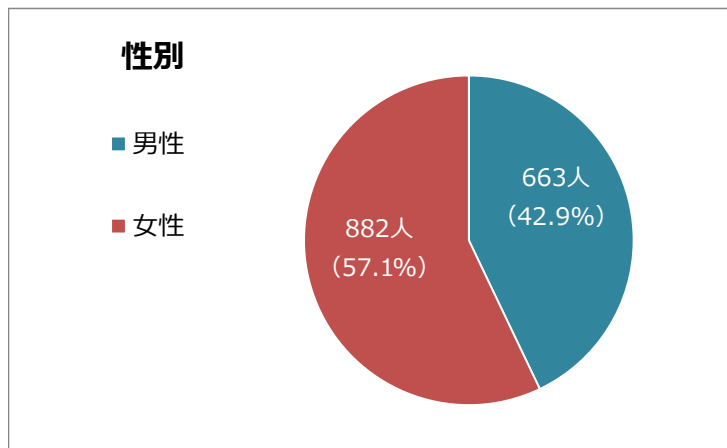
配布数	回答数	回答率
3,500通	1,573通	44.9%

5 調査結果

- ・ %表示は、小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計が100.0%にならない場合があります。
- ・ 回答者数の構成比は、無回答者を除いた人数で算出しています。
- ・ 複数回答が可能な設問の場合は、回答数の合計を回答者数で割った割合となっていますので、全ての構成比の合計は100.0%を超えます。

属性

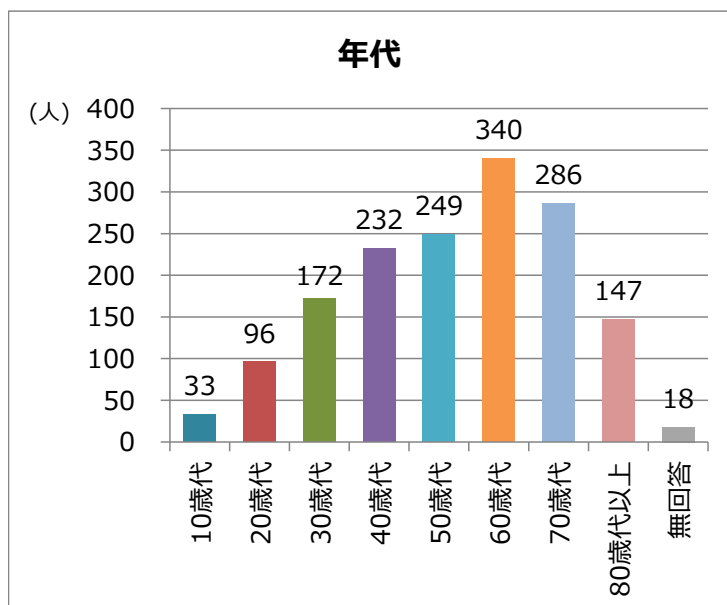
【問1】あなたの性別をお答えください。(1つに○)



	回答者数	比率(%)
男性	663	42.9
女性	882	57.1
無回答	28	-
合計	1,573	100.0

性別は、「男性」が663人(42.9%)、「女性」が882人(57.1%)となっています。

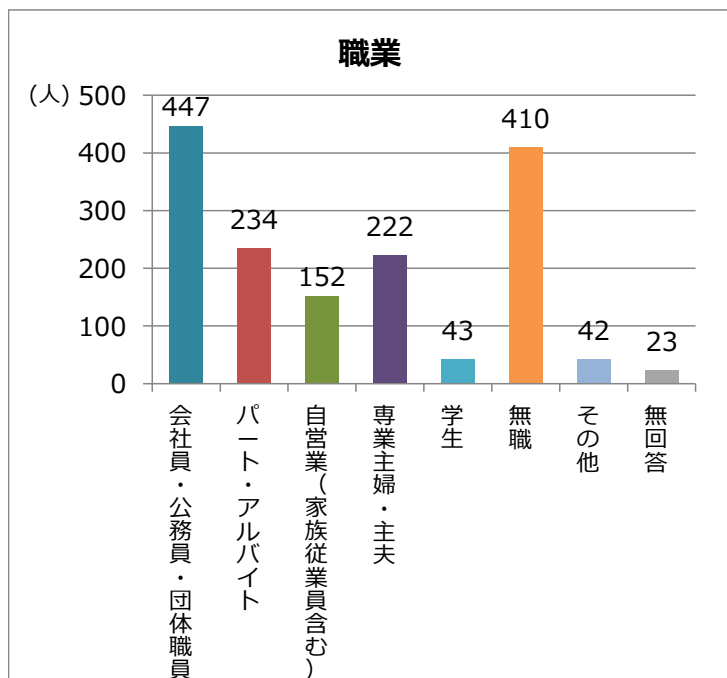
【問2】あなたの年代をお答えください。(1つに○)



	回答者数	比率(%)
10歳代	33	2.1
20歳代	96	6.2
30歳代	172	11.1
40歳代	232	14.9
50歳代	249	16.0
60歳代	340	21.9
70歳代	286	18.4
80歳代以上	147	9.5
無回答	18	-
合計	1,573	100.0

年代は、「60歳代」が340人(21.9%)と最も多く、次いで「70歳代」が286人(18.4%)、「50歳代」が249人(16.0%)で、「10歳代」からは、33人(2.1%)の方に回答をいただきました。

【問3】あなたの職業をお答えください。(1つに○)

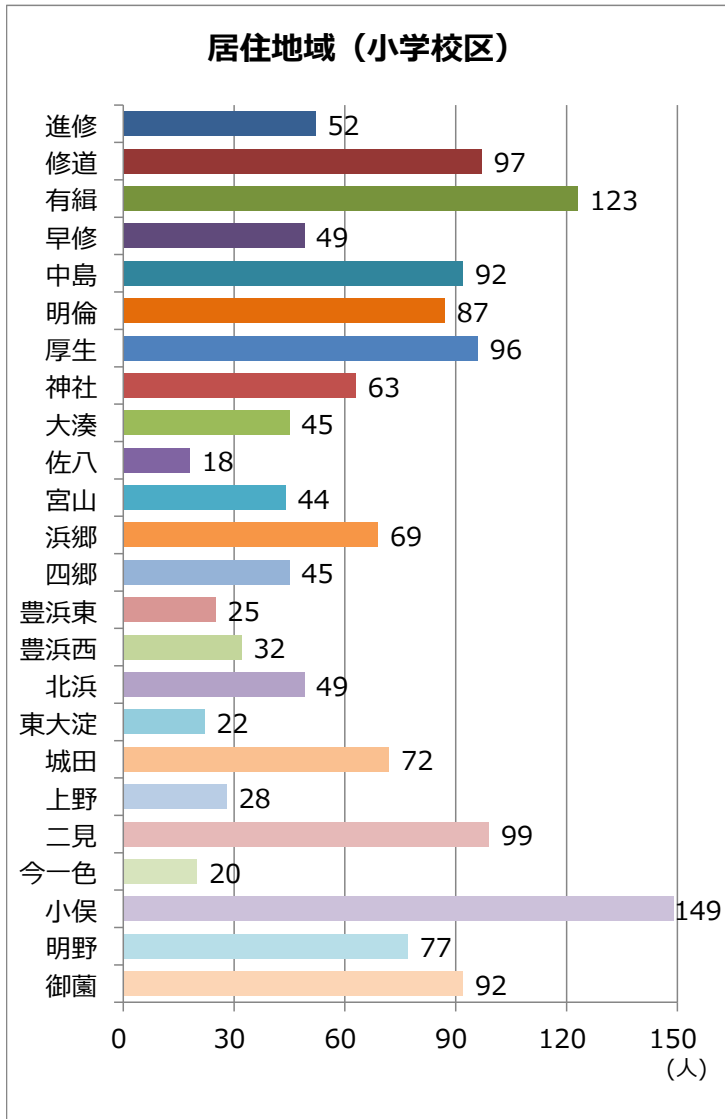


	回答者数	比率(%)
会社員・公務員・団体職員	447	28.8
パート・アルバイト	234	15.1
自営業(家族従業員含む)	152	9.8
専業主婦・主夫	222	14.3
学生	43	2.8
無職	410	26.5
その他	42	2.7
無回答	23	-
合計	1,573	100.0

職業は、「会社員・公務員・団体職員」が447人(28.8%)と最も多く、次いで「無職」が410人(26.5%)となっています。

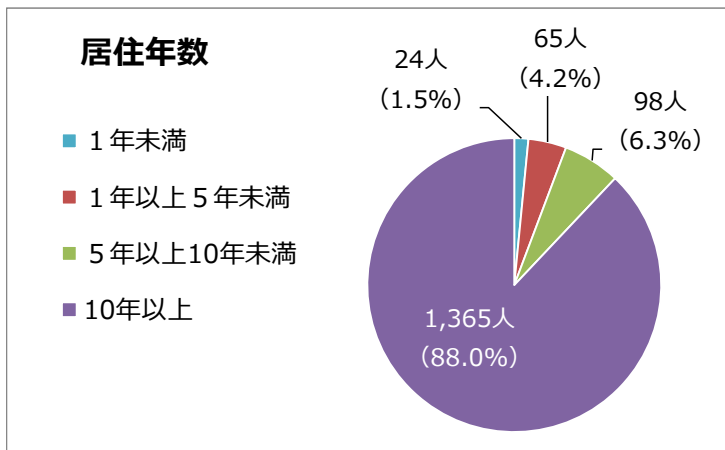
「無職」の回答が多いのは、60歳以上の回答者が773名(49.7%)と約半数を占めているためだと思われます。

【問4】あなたのお住まいの小学校地域をお答えください。(1つに○)



	回答者数	比率(%)
進修	52	3.4
修道	97	6.3
有緝	123	8.0
早修	49	3.2
中島	92	6.0
明倫	87	5.6
厚生	96	6.2
神社	63	4.1
大湊	45	2.9
佐八	18	1.2
宮山	44	2.8
浜郷	69	4.5
四郷	45	2.9
豊浜東	25	1.6
豊浜西	32	2.1
北浜	49	3.2
東大淀	22	1.4
城田	72	4.7
上野	28	1.8
二見	99	6.4
今一色	20	1.3
小俣	149	9.6
明野	77	5.0
御園	92	6.0
無回答	28	-
合計	1,573	100.0

【問5】伊勢市内にお住まいの期間についてお答えください。(1つに○)



	回答者数	比率(%)
1年未満	24	1.5
1年以上5年未満	65	4.2
5年以上10年未満	98	6.3
10年以上	1,365	88.0
無回答	21	-
合計	1,573	100.0

居住年数は、「10年以上」が1,365人(88.0%)と最も多くなっています。

公共施設の利用状況について

【問6】伊勢市内に1年以上お住まいの方にお聞きます。

①あなたは、過去1年間に伊勢市の公共施設をどの程度利用されましたか。(合計回数を回答)

②①で「年に数回程度」、「利用していない」に○をつけた方にお聞きます。

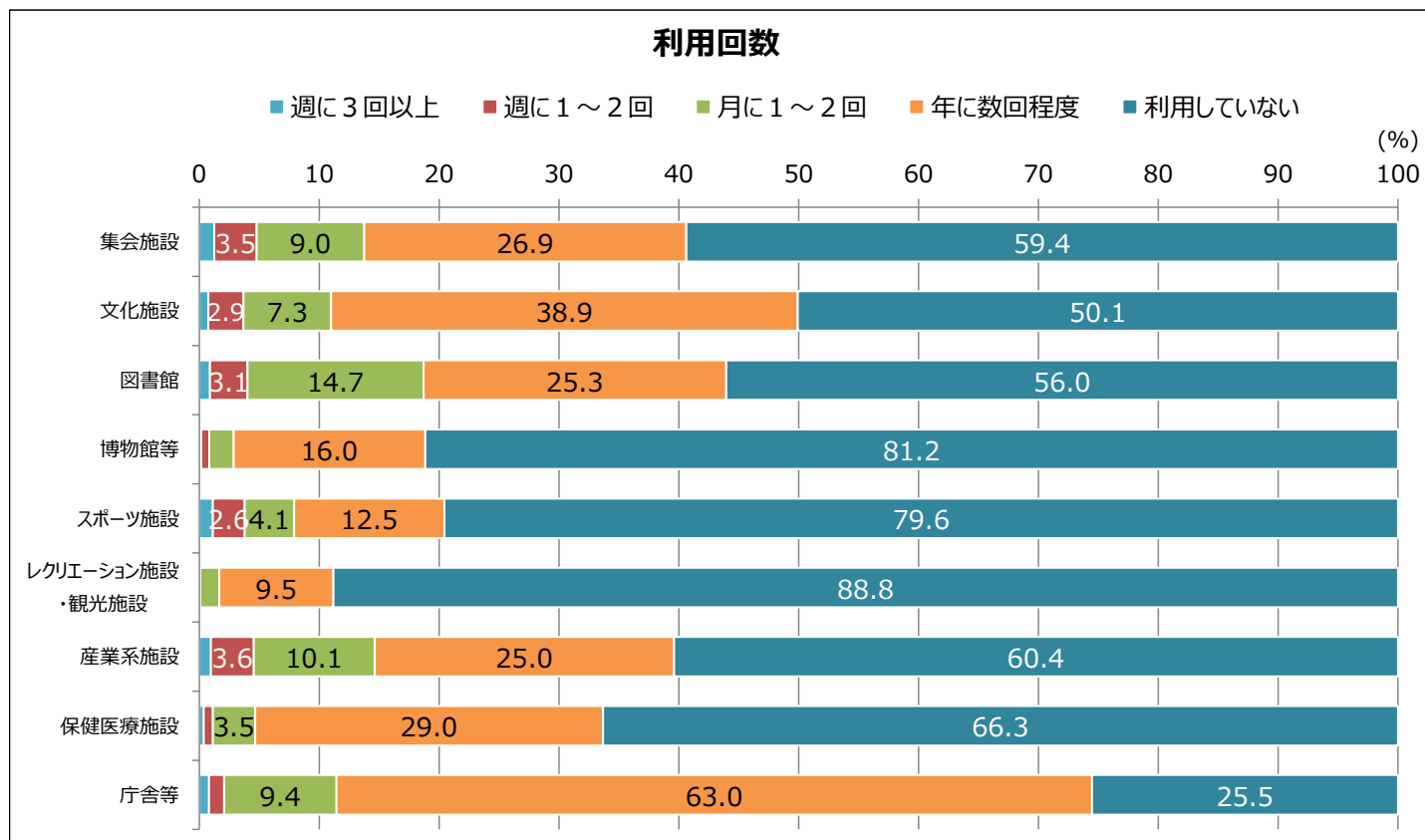
どのような理由で利用が少なかったのですか。(あてはまるものすべてに○)

施設名	利用回数	利用回数				利用して いない	無回答	合計
		週に 3回以上	週に 1～2回	月に 1～2回	年に 数回程度			
集会施設	回答数 比率 (1.3%)	17 (1.3%)	48 (3.5%)	122 (9.0%)	365 (26.9%)	807 (59.4%)	214 -	1,573 (100.0%)
文化施設	回答数 比率 (0.7%)	10 (0.7%)	40 (2.9%)	99 (7.3%)	528 (38.9%)	679 (50.1%)	217 -	1,573 (100.0%)
図書館	回答数 比率 (0.9%)	12 (0.9%)	42 (3.1%)	197 (14.7%)	339 (25.3%)	752 (56.0%)	231 -	1,573 (100.0%)
博物館等	回答数 比率 (0.2%)	2 (0.2%)	9 (0.7%)	27 (2.0%)	212 (16.0%)	1,077 (81.2%)	246 -	1,573 (100.0%)
スポーツ施設	回答数 比率 (1.1%)	15 (1.1%)	35 (2.6%)	55 (4.1%)	166 (12.5%)	1,055 (79.6%)	247 -	1,573 (100.0%)
レクリエーション施設 ・観光施設	回答数 比率 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (0.1%)	21 (1.6%)	126 (9.5%)	1,176 (88.8%)	249 -	1,573 (100.0%)
産業系施設	回答数 比率 (1.0%)	13 (1.0%)	48 (3.6%)	136 (10.1%)	336 (25.0%)	813 (60.4%)	227 -	1,573 (100.0%)
保健医療施設	回答数 比率 (0.4%)	5 (0.4%)	10 (0.8%)	47 (3.5%)	387 (29.0%)	884 (66.3%)	240 -	1,573 (100.0%)
庁舎等	回答数 比率 (0.8%)	11 (0.8%)	17 (1.2%)	128 (9.4%)	859 (63.0%)	348 (25.5%)	210 -	1,573 (100.0%)

過去1年間の公共施設の利用状況は、庁舎等を除く全ての公共施設において、「利用していない」と回答した人が最も多く、半数を超えています。また、いずれの施設も「年に数回程度」の利用が多くなっています。

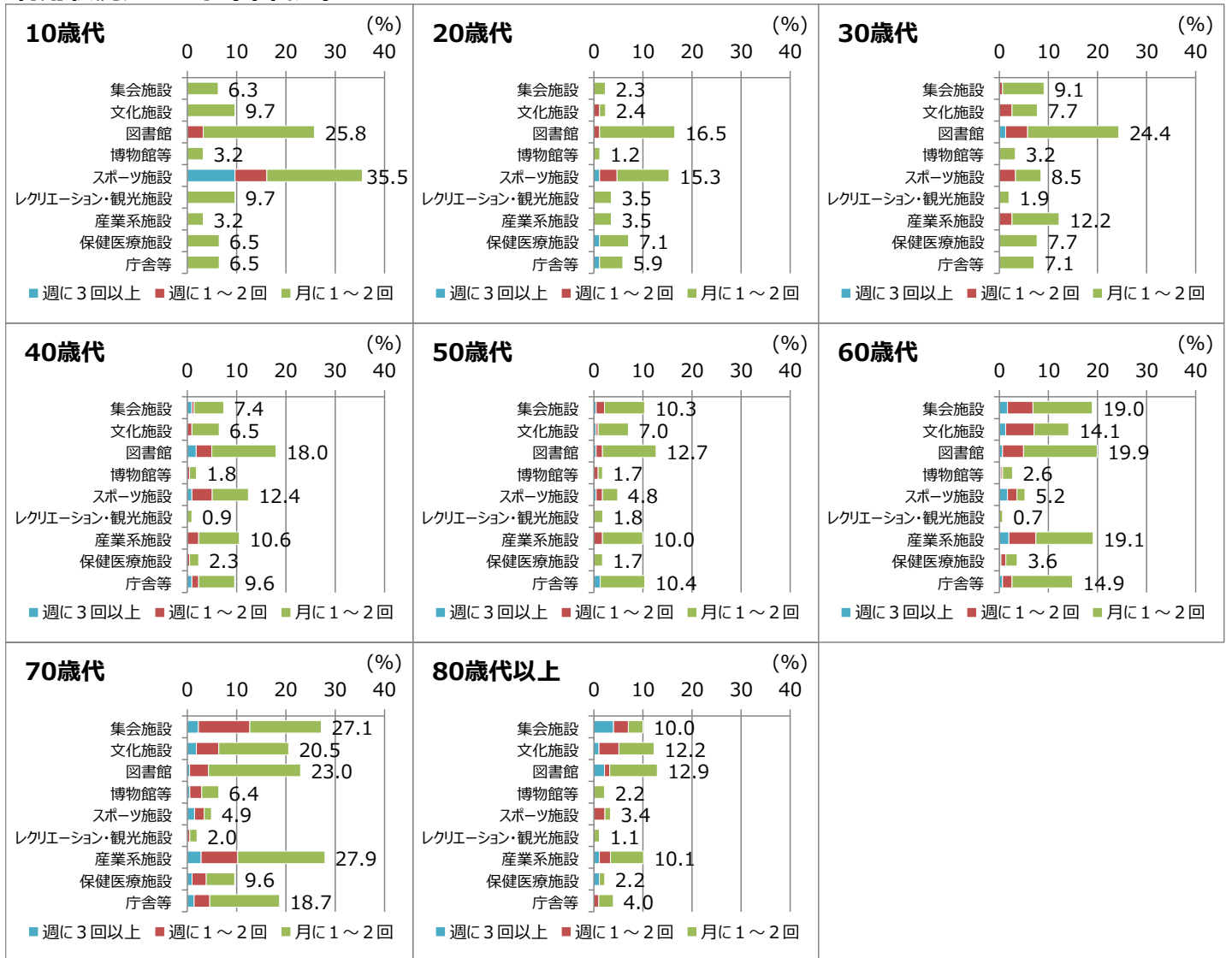
庁舎等は、「年に数回程度」利用している人が最も多くなっています。

利用者の多い施設では、「庁舎等」が1,015人(74.3%)と最も高く、次いで「文化施設」が677人(49.8%)、「図書館」が590人(43.9%)となっています。一方、利用していない公共施設は、「レクリエーション施設・観光施設」が1,176人(88.8%)と最も高く、次いで、「博物館等」が1,077人(81.2%)、「スポーツ施設」が1,055人(79.6%)となっています。「庁舎等」以外の公共施設の利用は50%以下となっています。

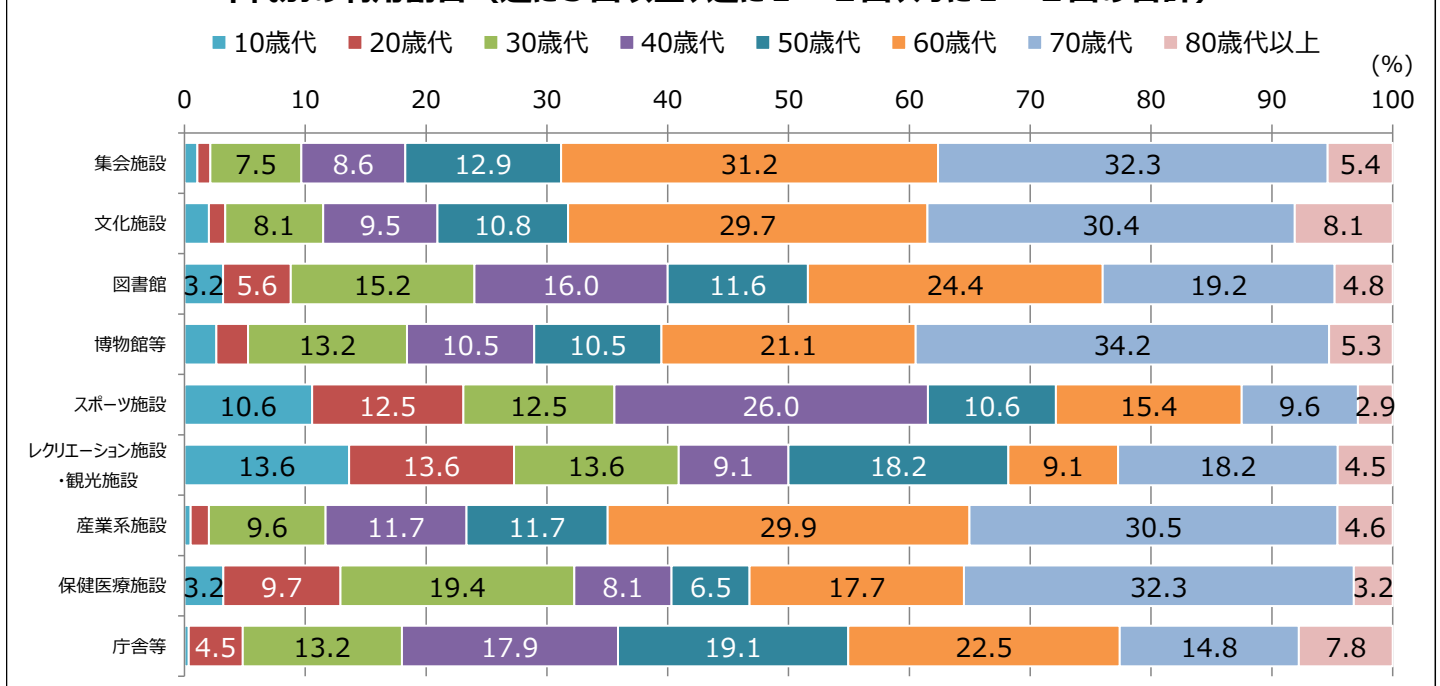


■ □ 「週に3回以上」、「週に1～2回」、「月に1～2回」の利用者を年代別に分析 □ ■

利用状況について（年代別）

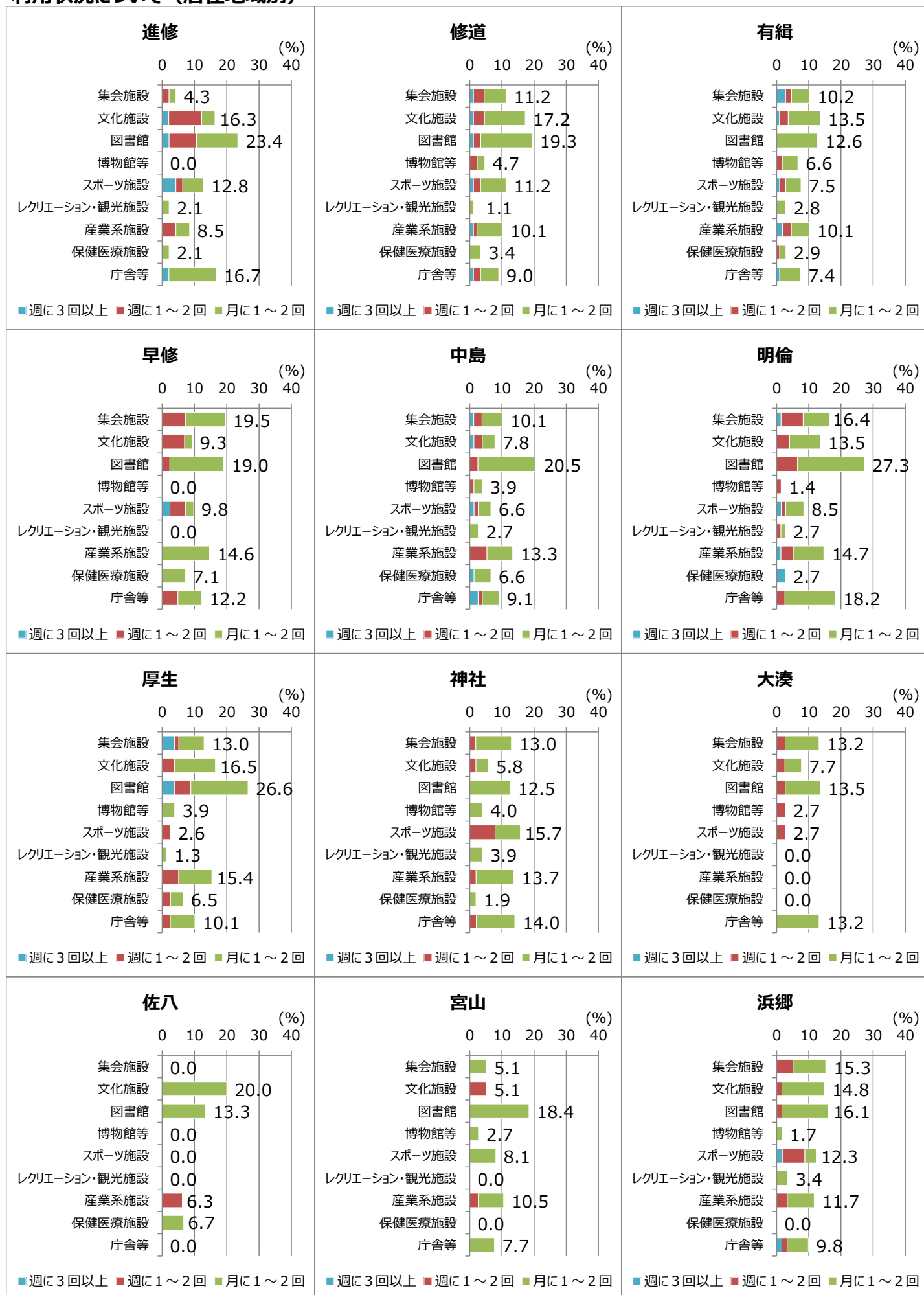


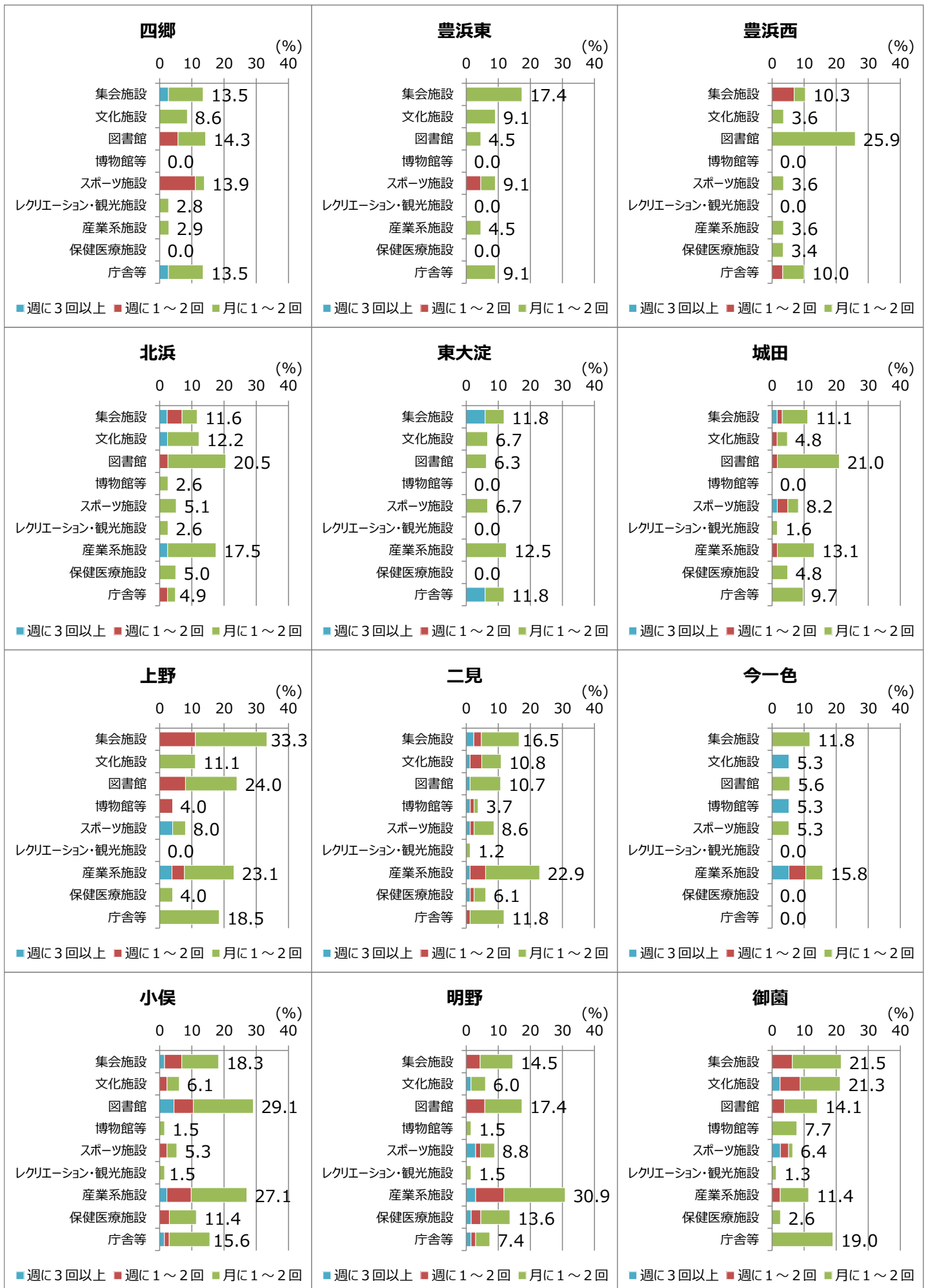
年代別の利用割合（週に3回以上、週に1～2回、月に1～2回の合計）



スポーツ施設は10歳代～40歳代が多く、50歳代以上は少なくなっています。集会施設、文化施設は、その逆で50歳代以上の人が多くなっています。

地域別の利用状況は以下のとおりでした。
利用状況について（居住地域別）





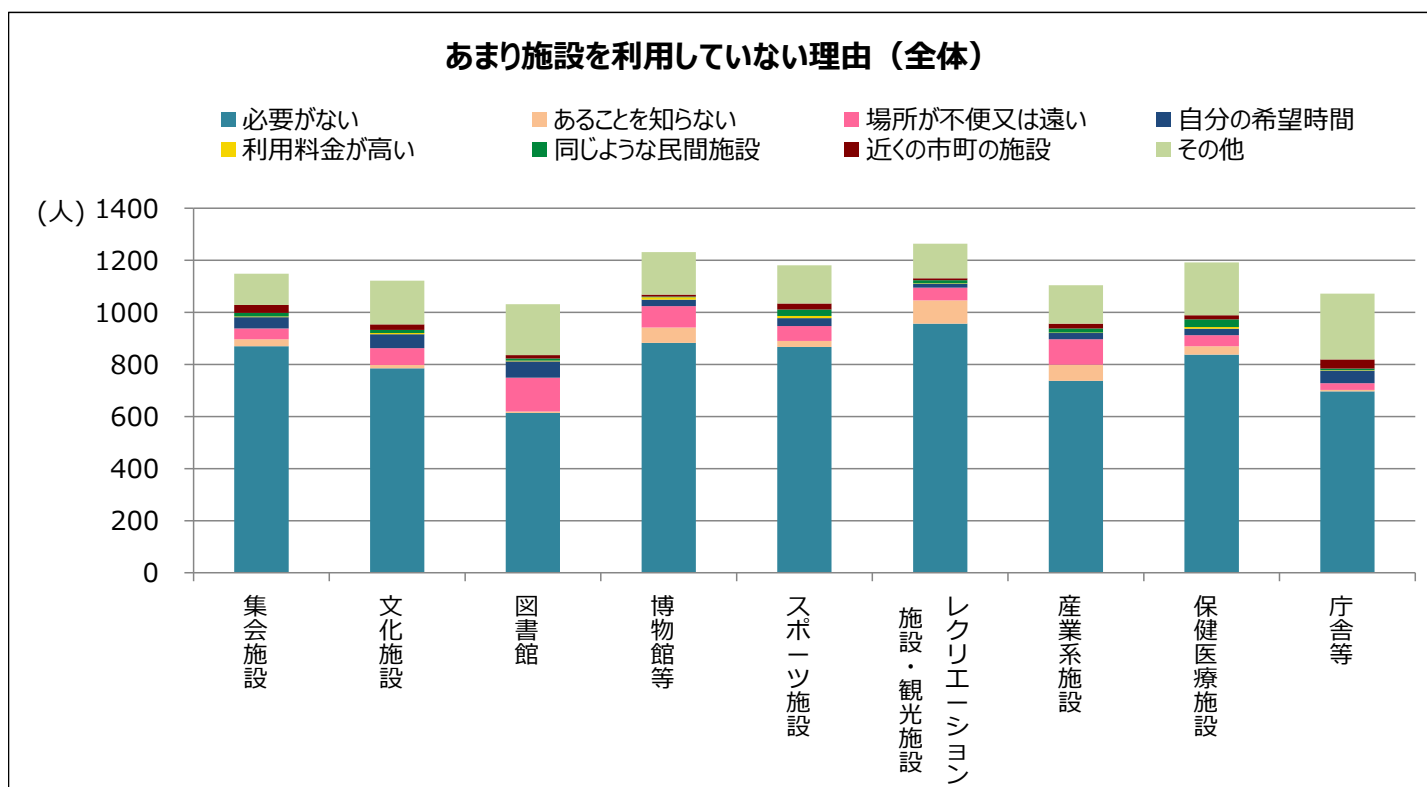
「年に数回程度」、「利用していない」とお答えいただいた方の利用が少なかった理由

施設名	利用が少なかった理由	利用する必要があるが無い	ない施設があることを知ら	遠い施設の場所が不便又は	を自分の希望時間施設	利用料金が高い	利用しようになる民間施設を	利近くの市町の施設を	その他	無回答	合計
集会施設	回答数 比率 (79.4%)	869 (2.4%)	26 (3.7%)	41 (4.0%)	44 (0.2%)	2 (1.3%)	14 (3.0%)	33 (10.9%)	119	78	1,226 -
文化施設	回答数 比率 (72.1%)	784 (1.1%)	12 (6.0%)	65 (4.9%)	53 (0.5%)	5 (1.1%)	12 (1.9%)	21 (15.5%)	168	120	1,242 -
図書館	回答数 比率 (61.2%)	613 (0.4%)	4 (13.0%)	130 (6.3%)	63 (0.3%)	3 (0.8%)	8 (1.3%)	13 (19.5%)	195	90	1,121 -
博物館等	回答数 比率 (74.6%)	882 (4.9%)	58 (6.9%)	82 (2.1%)	25 (0.8%)	9 (0.3%)	3 (0.6%)	7 (13.8%)	163	106	1,337 -
スポーツ施設	回答数 比率 (76.4%)	866 (1.9%)	22 (5.0%)	57 (2.7%)	31 (0.7%)	8 (2.2%)	25 (2.0%)	23 (13.0%)	147	88	1,269 -
レクリエーション施設 ・観光施設	回答数 比率 (78.9%)	956 (7.3%)	88 (4.0%)	49 (1.2%)	15 (0.2%)	2 (1.0%)	12 (0.6%)	7 (11.0%)	133	91	1,355 -
産業系施設	回答数 比率 (69.6%)	736 (5.8%)	61 (9.3%)	98 (2.3%)	24 (0.2%)	2 (1.4%)	15 (1.8%)	19 (13.9%)	147	92	1,196 -
保健医療施設	回答数 比率 (72.6%)	837 (2.7%)	31 (3.6%)	42 (2.2%)	25 (0.6%)	7 (2.5%)	29 (1.4%)	16 (17.6%)	203	118	1,310 -
庁舎等	回答数 比率 (66.5%)	696 (0.4%)	4 (2.5%)	26 (4.6%)	48 (0.2%)	2 (0.6%)	6 (3.3%)	35 (24.2%)	253	161	1,233 -

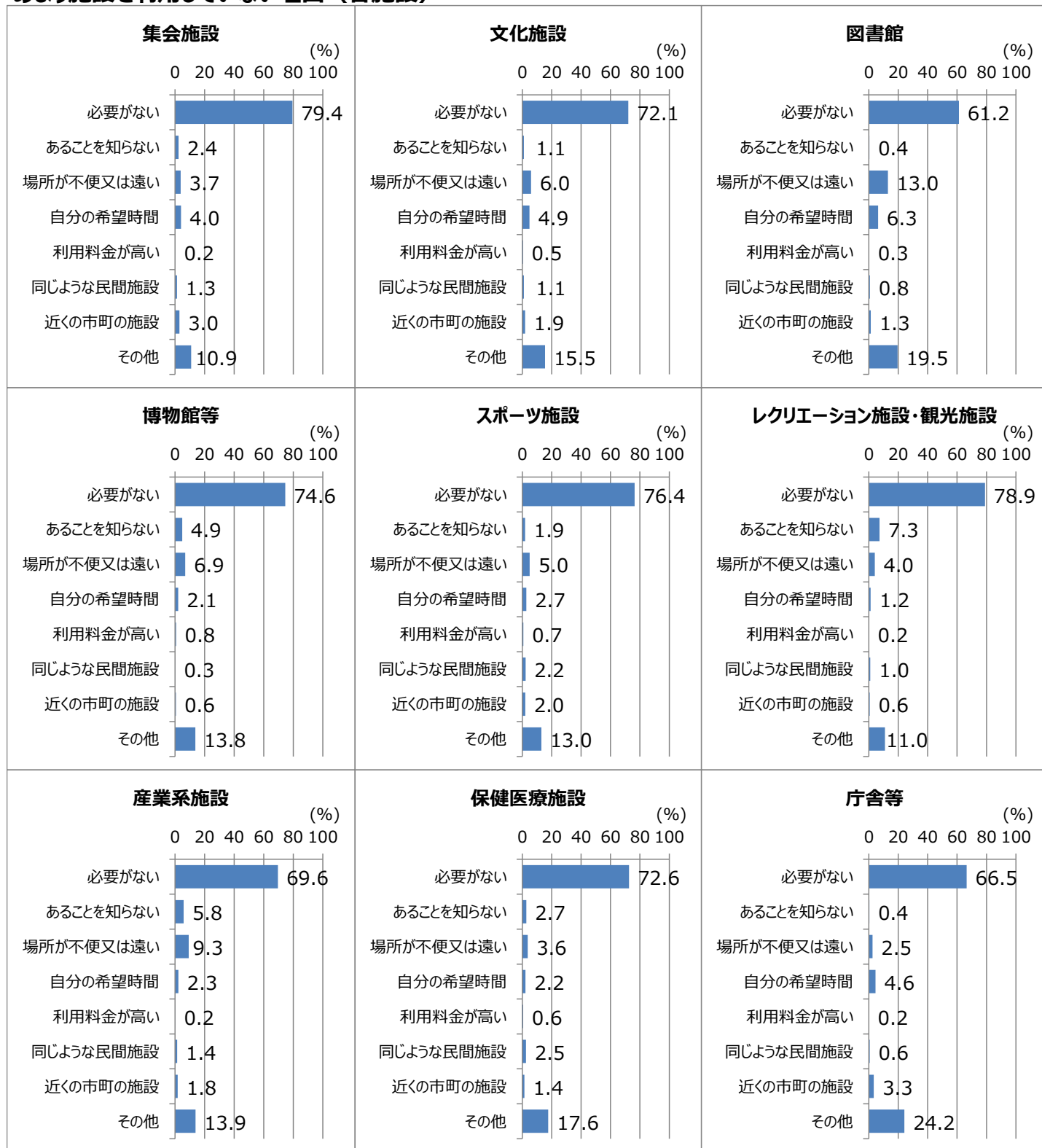
利用していない理由は、各施設で「利用する必要がある」との回答が、最も多く、約6～8割となっています。特に「年に数回程度」、「利用していない」の回答が多かった「レクリエーション施設・観光施設」、「スポーツ施設」については、「レクリエーション施設・観光施設」のうち観光施設は市民向けの施設ではないこと、「スポーツ施設」については、回答者の約半数が60歳以上であることが影響しているものと考えられます。その他、「図書館」においては、「施設の場所が不便又は遠い」とお答えいただいた方が130人（13.0%）みえました。

「施設の場所が不便又は遠い」、「自分の希望時間に施設を利用できない」の回答に対しては、その施設の活かし方を工夫していく必要があるようです。

あまり施設を利用していない理由（全体）



あまり施設を利用していない理由（各施設）



老朽化問題に取り組むことの必要性について

公共施設の老朽化問題と公共施設等総合管理計画について

全国の自治体と同様に伊勢市では、昭和40年代半ば以降の昭和の時代に、高度経済成長などに伴い、公共施設（学校、集会施設などの建築物）を一斉に建築してきました。

現在、これらの公共施設の老朽化が進んでおり、近い将来、大規模な改修や建て替えを集中して行わなければならない時期を迎えます。

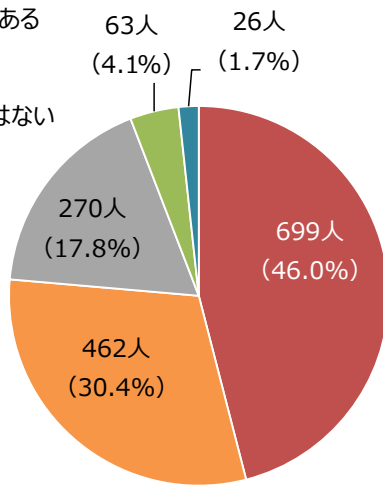
しかし、人口減少や少子高齢化などにより、財政状況は厳しさを増し、全ての公共施設を維持することは困難になっています。

このような背景から、市では、長期的な視点で、公共施設等の総合的で計画的な管理を行うために、「伊勢市公共施設等総合管理計画」を策定（平成28年3月）し、市ホームページで公表するとともに、広報いせでお知らせしています。

【問7】伊勢市が上記のような公共施設の老朽化問題に取り組むことについて、あなたはどのように思いますか。（1つに○）

老朽化問題への取り組みの必要性

- 取り組むべきである
- どちらかといえば取り組むべきである
- どちらともいえない
- どちらかといえば取り組む必要はない
- 取り組む必要はない

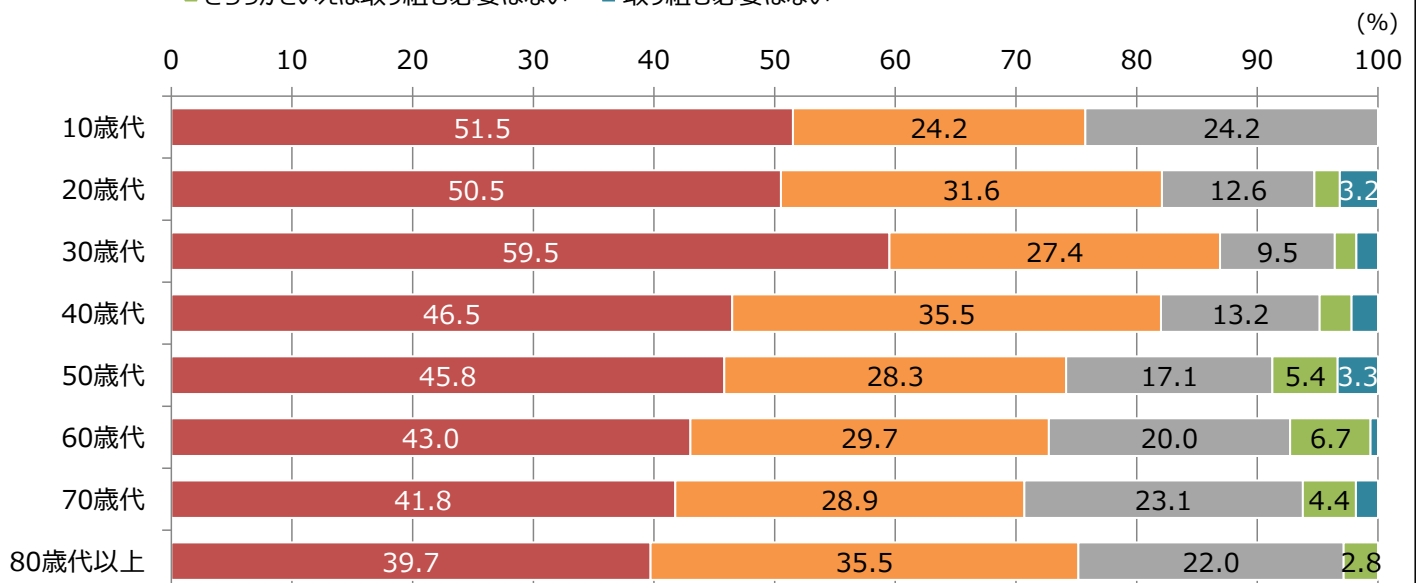


	回答者数	比率(%)
取り組むべきである	699	46.0
どちらかといえば取り組むべきである	462	30.4
どちらともいえない	270	17.8
どちらかといえば取り組む必要はない	63	4.1
取り組む必要はない	26	1.7
無回答	53	-
合計	1,573	100.0

老朽化問題に取り組むことについては、「取り組むべきである」が699人(46.0%)と最も多く、次いで、「どちらかといえば取り組むべきである」が462人(30.4%)となっており、「取り組むべきである」と「どちらかといえば取り組むべきである」を合計すると、1,161人(76.4%)となっています。また、「どちらかといえば取り組む必要はない」と「取り組む必要はない」の合計は89人(5.8%)と低くなっています。

老朽化問題への取り組みの必要性（年代別）

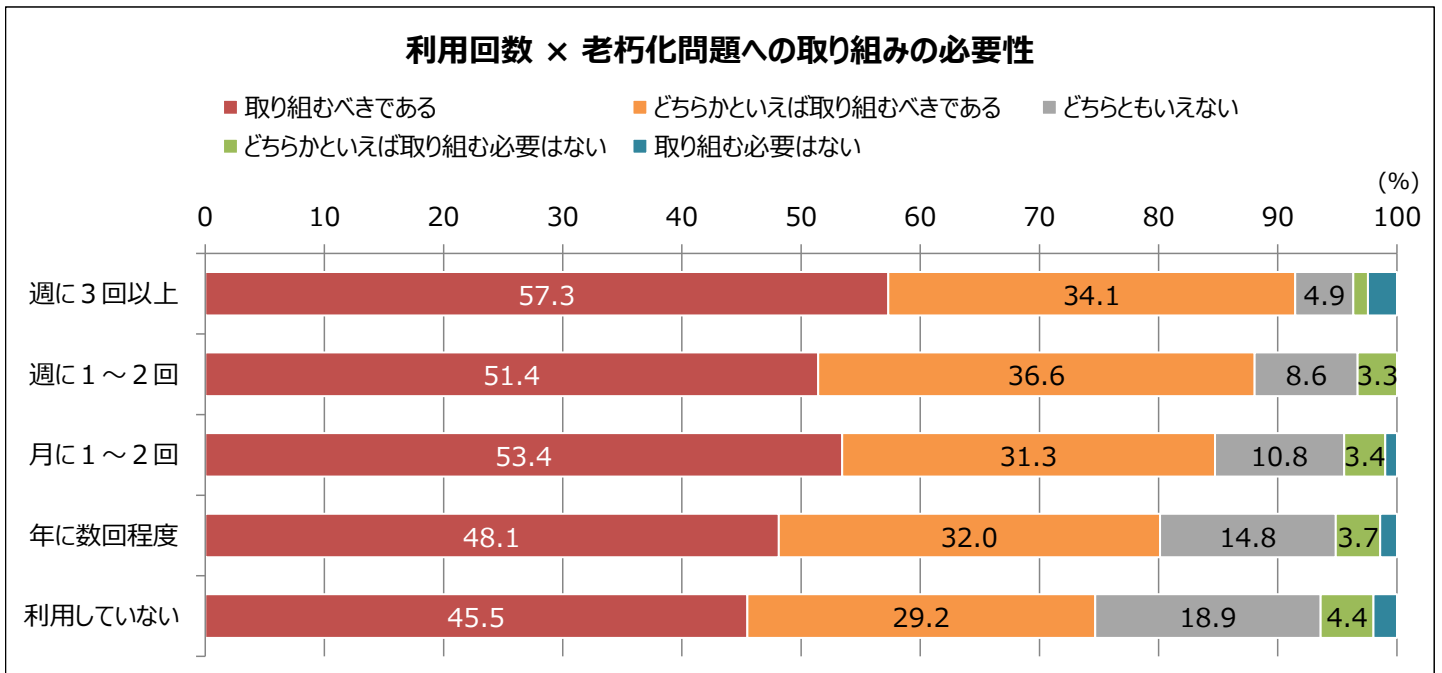
- 取り組むべきである
- どちらかといえば取り組むべきである
- どちらともいえない
- どちらかといえば取り組む必要はない
- 取り組む必要はない



年代別では、「取り組むべきである」がどの年代においても最も高く、「30歳代」が59.5%、次いで「10歳代」が51.5%、「20歳代」が50.5%となっており、若い世代の意識がより高くなっています。

■ □ 老朽化問題への取り組みの必要性を利用回数で分析 □ ■

		取り組むべきである	どちらかといえば取り組むべきである	どちらともいえない	どちらかといえば取り組む必要はない	取り組む必要はない	無回答	合計
週に3回以上	回答数 比率	47 (57.3%)	28 (34.1%)	4 (4.9%)	1 (1.2%)	2 (2.4%)	3 -	85 (100.0%)
週に1～2回	回答数 比率	125 (51.4%)	89 (36.6%)	21 (8.6%)	8 (3.3%)	0 (0.0%)	7 -	250 (100.0%)
月に1～2回	回答数 比率	434 (53.4%)	254 (31.3%)	88 (10.8%)	28 (3.4%)	8 (1.0%)	20 -	832 (100.0%)
年に数回程度	回答数 比率	1,549 (48.1%)	1,030 (32.0%)	475 (14.8%)	120 (3.7%)	45 (1.4%)	99 -	3,318 (100.0%)
利用していない	回答数 比率	3,382 (45.5%)	2,171 (29.2%)	1,407 (18.9%)	330 (4.4%)	146 (2.0%)	155 -	7,591 (100.0%)
無回答	回答数 比率	754 (39.9%)	586 (31.0%)	435 (23.0%)	80 (4.2%)	33 (1.7%)	193 -	2,081 (100.0%)

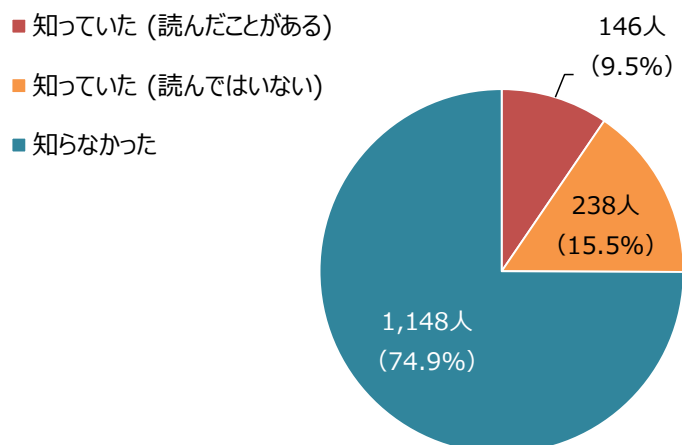


利用回数が多い方ほど老朽化問題への取り組みの意識が高くなる傾向が見られます。

公共施設等総合管理計画の認知度について

【問 8】あなたは「伊勢市公共施設等総合管理計画」をご存知でしたか。(1つに○)

「伊勢市公共施設等総合管理計画」の認知度

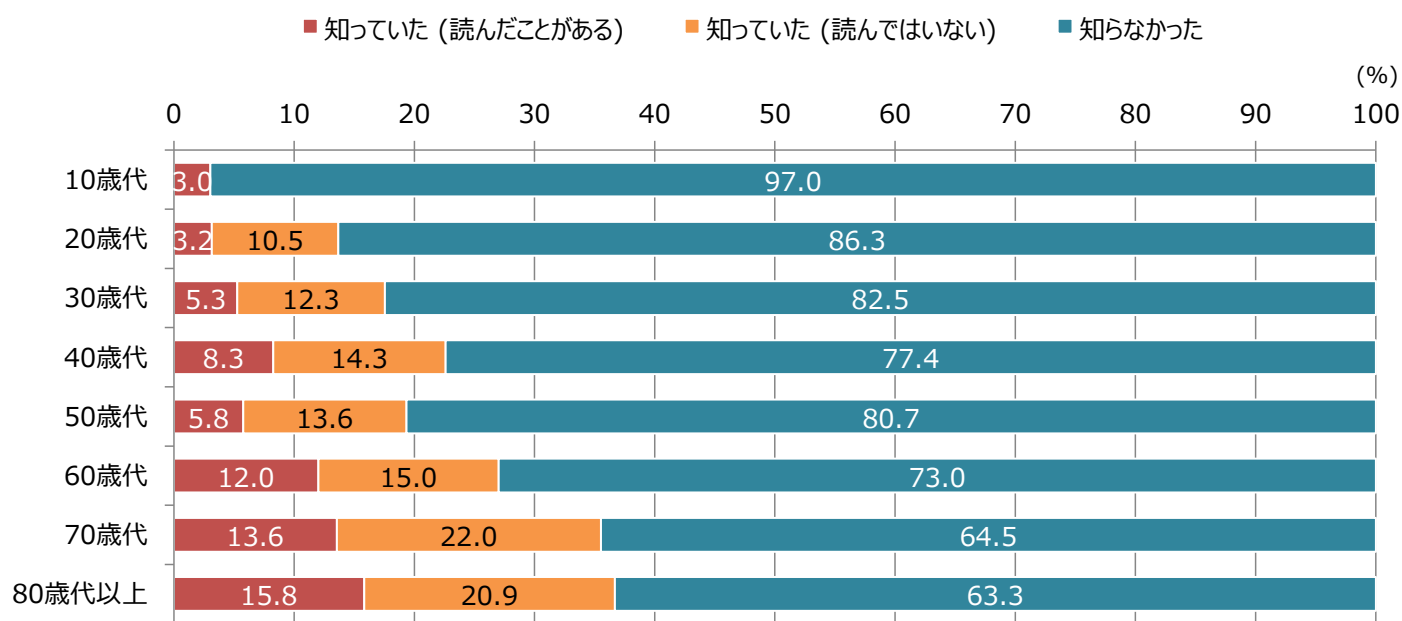


	回答者数	比率(%)
知っていた (読んだことがある)	146	9.5
知っていた (読んではいない)	238	15.5
知らなかった	1,148	74.9
無回答	41	-
合計	1,573	100.0

「伊勢市公共施設等総合管理計画」の認知度については、「知らなかった」が1,148人(74.9%)と最も多く、認知度は低いと言えます。

また、「知らなかった」と「知っていた (読んではいない)」を合わせると、約90%の方が総合管理計画の内容を知らないことになります。

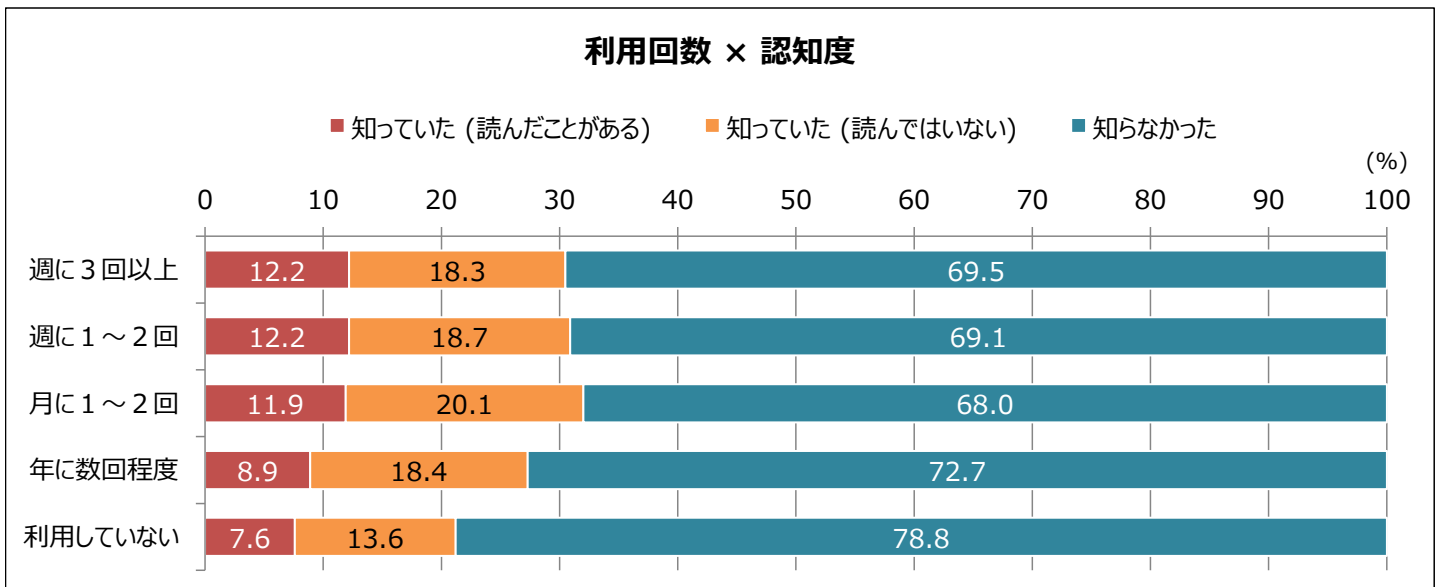
「伊勢市公共施設等総合管理計画」の認知度 (年代別)



年代別での認知度は、「知っていた(読んだことがある)」と「知っていた(読んではいない)」の合計は、80歳代以上が36.7%と最も高く、年齢層が低くなるにつれて認知度が低くなる傾向となっています。

■ □ 公共施設等総合管理計画の認知度を利用回数で分析 □ ■

		知っていた (読んだことがある)	知っていた (読んではいない)	知らなかった	無回答	合計
週に3回以上	回答数 比率	10 (12.2%)	15 (18.3%)	57 (69.5%)	3 -	85 (100.0%)
週に1～2回	回答数 比率	30 (12.2%)	46 (18.7%)	170 (69.1%)	4 -	250 (100.0%)
月に1～2回	回答数 比率	97 (11.9%)	164 (20.1%)	554 (68.0%)	17 -	832 (100.0%)
年に数回程度	回答数 比率	290 (8.9%)	600 (18.4%)	2,369 (72.7%)	59 -	3,318 (100.0%)
利用していない	回答数 比率	567 (7.6%)	1,018 (13.6%)	5,888 (78.8%)	118 -	7,591 (100.0%)
無回答	回答数 比率	320 (16.7%)	299 (15.6%)	1,294 (67.6%)	168 -	2,081 (100.0%)



「週に3回以上」、「週に1～2回」、「月に1～2回」の利用されている方においては、「知っていた (読んだことがある)」、「知っていた (読んではいない)」を合せて、認知度は30%を越えています。

公共施設の建て替え費用に対する市民の費用負担について

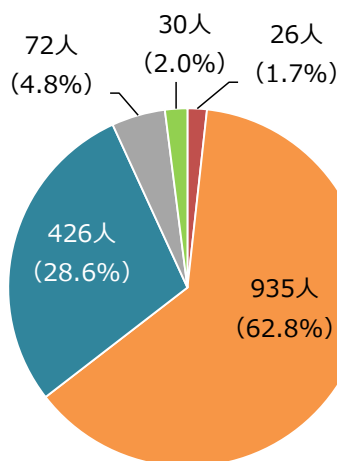
【問9】公共施設の建て替え費用に対する市民の皆様の費用負担について、あなたのお考えに近いものはどれですか。

(1つに○)

- ①負担が増えても、今ある全ての施設の建替えを進める。
- ②負担ができるだけ増えないよう、施設の優先度・重要度を考慮し、施設を統合（複合化・集約化）や廃止しながら建替えを進める。
- ③負担が増えるなら、必ずしも全ての施設を建替えする必要はない。
- ④わからない
- ⑤その他

費用負担

- ①全ての施設を建替える
- ②統合や廃止しながら建替える
- ③建替える必要はない
- ④わからない
- ⑤その他

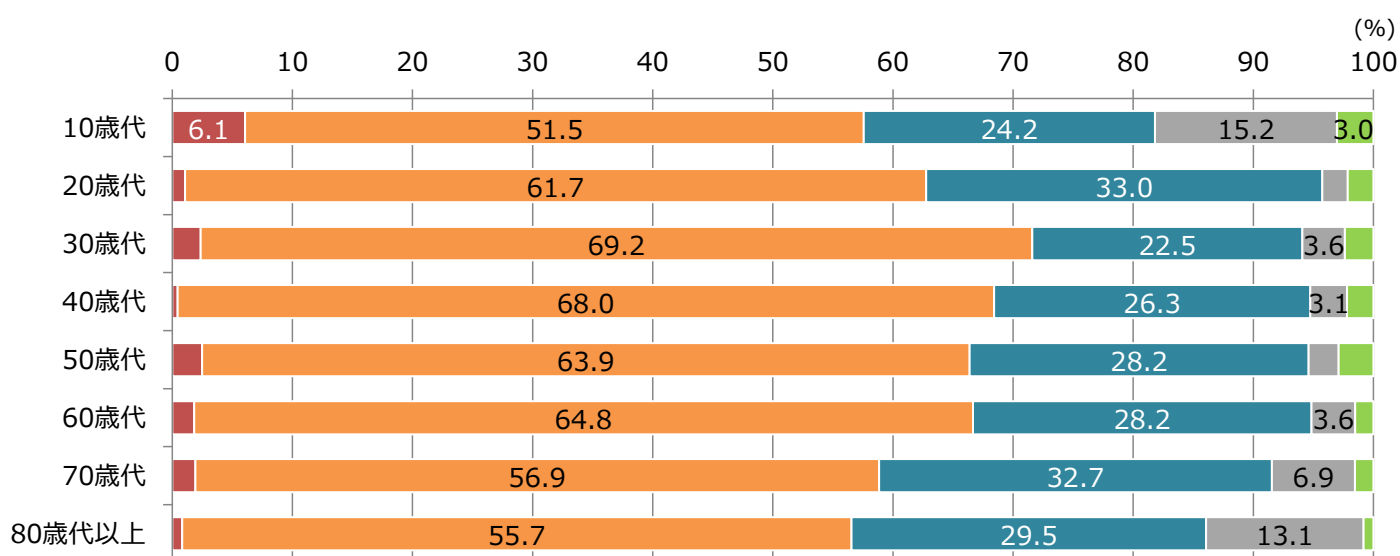


	回答者数	比率(%)
①全ての施設を建替える	26	1.7
②統合や廃止しながら建替える	935	62.8
③建替える必要はない	426	28.6
④わからない	72	4.8
⑤その他	30	2.0
無回答	84	-
合計	1,573	100.0

費用負担については、「②統合や廃止しながら建替える」が935人(62.8%)と最も多く、次いで「③建替える必要はない」が426人(28.6%)となっています。

費用負担（年代別）

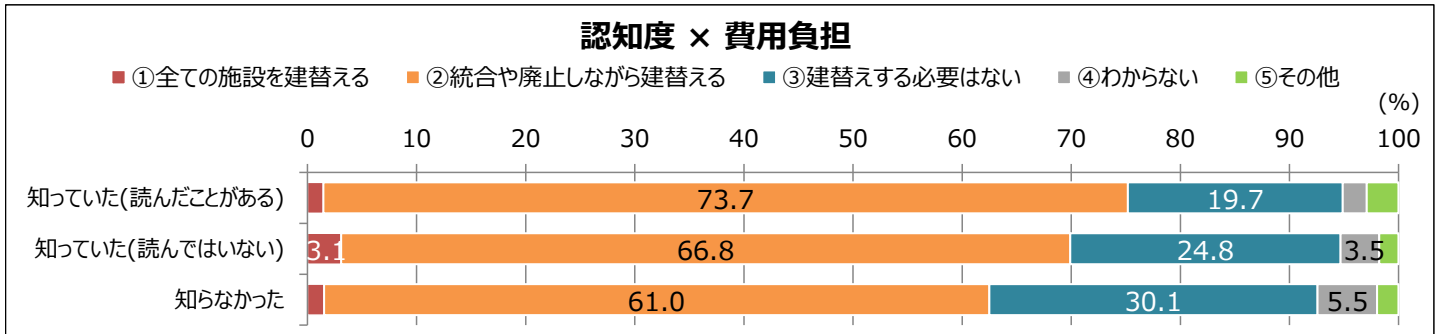
- ①全ての施設を建替える
- ②統合や廃止しながら建替える
- ③建替える必要はない
- ④わからない
- ⑤その他



費用負担を年代別に見ると、どの年代でも、同じような傾向が見られます。

■ □ 費用負担を公共施設等総合管理計画の認知度で分析 □ ■

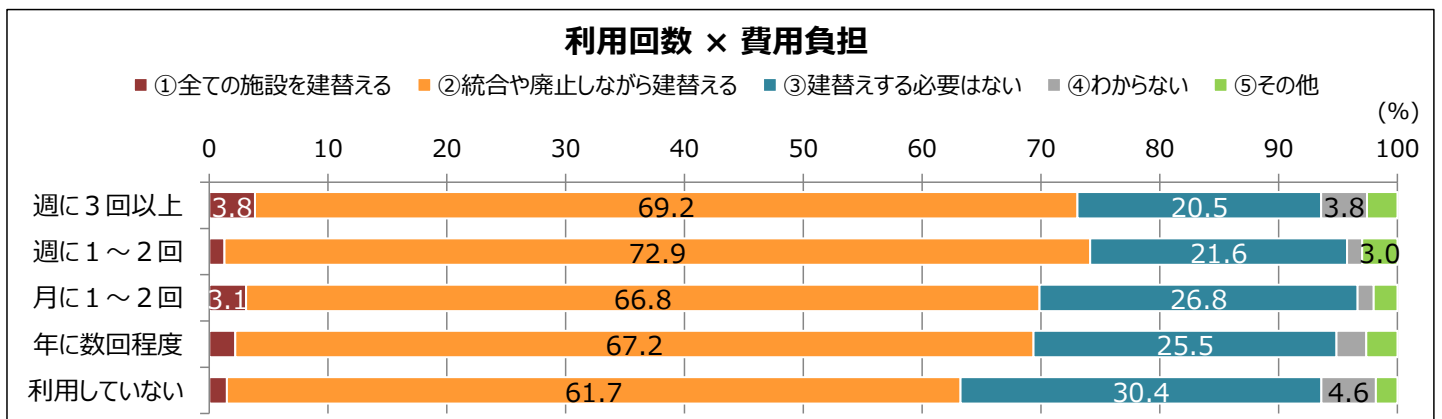
		① 全ての施設 を建替える	② 統合や廃止 しながら建替える	③ 建替える 必要はない	④ わからない	⑤ その他	無回答	合計
知っていた (読んだことがある)	回答数 比率	2 (1.5%)	101 (73.7%)	27 (19.7%)	3 (2.2%)	4 (2.9%)	9 -	146 (100.0%)
知っていた (読んではいない)	回答数 比率	7 (3.1%)	151 (66.8%)	56 (24.8%)	8 (3.5%)	4 (1.8%)	12 -	238 (100.0%)
知らなかった	回答数 比率	17 (1.5%)	681 (61.0%)	336 (30.1%)	61 (5.5%)	22 (2.0%)	31 -	1,148 (100.0%)
無回答	回答数 比率	0 (0.0%)	2 (22.2%)	7 (77.8%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	32 -	41 (100.0%)



「公共施設等総合管理計画」を知らなかった方に比べて、「知っていた (読んだことがある)」または「知っていた (読んではいない)」の方は、「②統合や廃止しながら建替える」との回答が増えており、「③建替える必要はない」との回答が減っています。公共施設等の現状や課題の認知度が高くなるにつれ、整理をしながら計画的に建替えるべきと考える傾向となっています。

■ □ 費用負担の考えを利用回数で分析 □ ■

		① 全ての施設 を建替える	② 統合や廃止 しながら建替える	③ 建替える 必要はない	④ わからない	⑤ その他	無回答	合計
週に3回以上	回答数 比率	3 (3.8%)	54 (69.2%)	16 (20.5%)	3 (3.8%)	2 (2.6%)	7 -	85 (100.0%)
週に1～2回	回答数 比率	3 (1.3%)	172 (72.9%)	51 (21.6%)	3 (1.3%)	7 (3.0%)	14 -	250 (100.0%)
月に1～2回	回答数 比率	25 (3.1%)	539 (66.8%)	216 (26.8%)	11 (1.4%)	16 (2.0%)	25 -	832 (100.0%)
年に数回程度	回答数 比率	70 (2.2%)	2,155 (67.2%)	818 (25.5%)	80 (2.5%)	84 (2.6%)	111 -	3,318 (100.0%)
利用していない	回答数 比率	109 (1.5%)	4,518 (61.7%)	2,223 (30.4%)	336 (4.6%)	132 (1.8%)	273 -	7,591 (100.0%)
無回答	回答数 比率	24 (1.4%)	977 (55.7%)	510 (29.1%)	215 (12.3%)	29 (1.7%)	326 -	2,081 (100.0%)

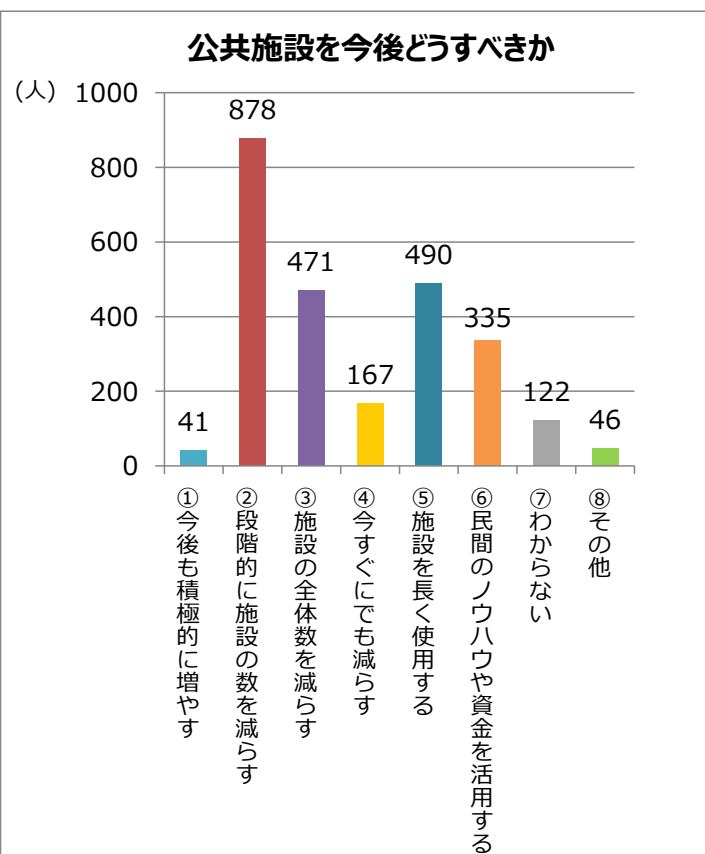


費用負担を利用回数の違いから見ると、利用回数が多いほど、「②統合や廃止しながら建替える」との回答が増えており、「③建替える必要はない」との回答が減っています。利用回数が多く、公共施設への関心が高い方ほど、整理をしながら計画的に建替えるべきと考える傾向となっています。

老朽化問題に取り組むにあたっての今後の方策について

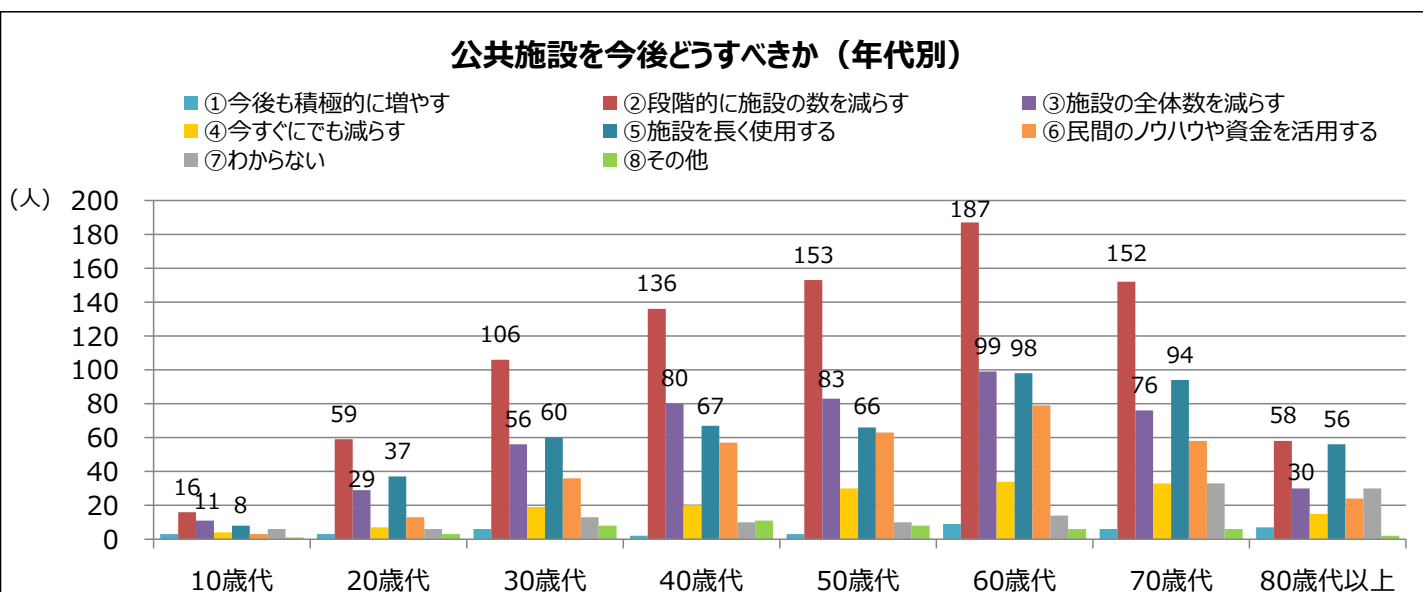
【問10】伊勢市が公共施設の老朽化問題に取り組むにあたり、あなたは公共施設を今後どのようにしていきべきだと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

- ①現在ある施設では、まだ不足しているので、今後も積極的に増やしていくべきである。
- ②施設の必要性を見直し、人口や市の財政力に見合った量まで、統合（複合化・集約化）や廃止をして、段階的に施設の数を減らすべきである。
- ③新たに施設を建てる場合は、統合（複合化・集約化）や廃止をして、施設の全体数を減らすべきである。
- ④現在ある施設は必要以上に多いので、今すぐにでも減らすべきである。
- ⑤適切な維持管理を行い、施設を長く使用するべきである。
- ⑥施設の建て替えや管理運営に、民間のノウハウや資金を活用するべきである。
- ⑦わからない
- ⑧その他



	回答者数	比率(%)
① 今後も積極的に増やす	41	2.7
② 段階的に施設の数を減らす	878	57.4
③ 施設の全体数を減らす	471	30.8
④ 今すぐにでも減らす	167	10.9
⑤ 施設を長く使用する	490	32.0
⑥ 民間のノウハウや資金を活用する	335	21.9
⑦ わからない	122	8.0
⑧ その他	46	3.0
無回答	44	-

老朽化問題に取り組むにあたり、公共施設を今後どのようにしていきべきかについては、「②段階的に施設の数を減らす」が878人(57.4%)と最も多く、次いで「⑤施設を長く使用する」が490人(32.0%)、「③施設の全体数を減らす」が471人(30.8%)となっています。

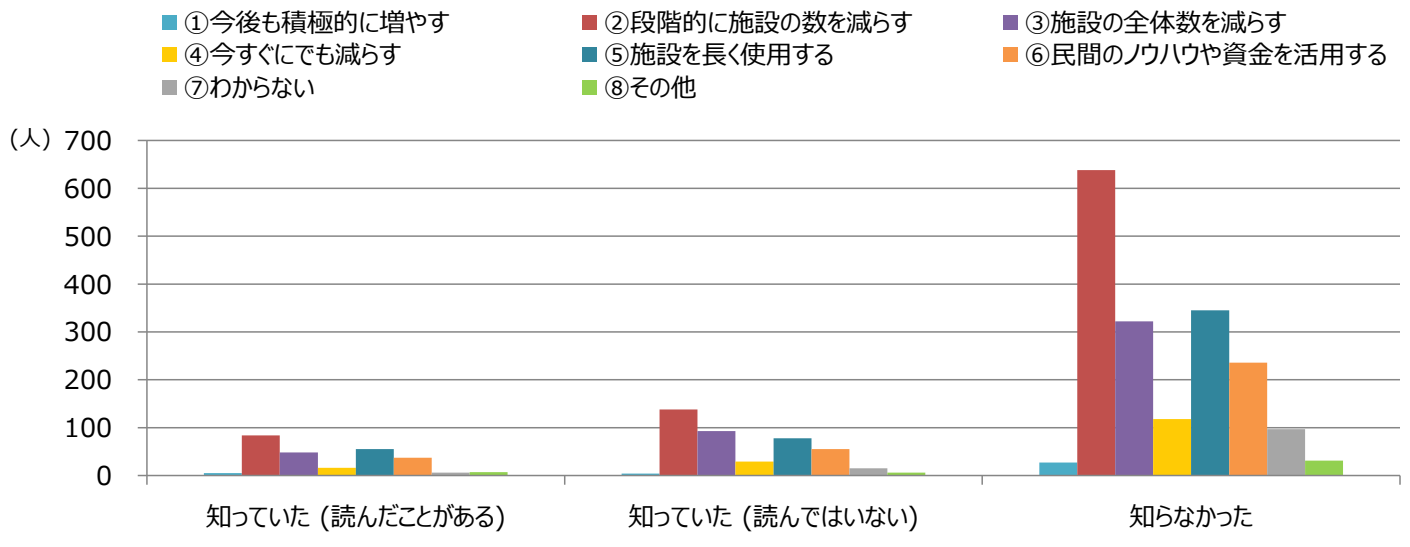


公共施設を今後どうすべきかを年代別に見ると、大体どの年代でも似通った傾向が見られます。

■ □ 公共施設を今後どうすべきかを認知度で分析 □ ■

	① 今後も積極的に増やす	② 段階的に施設の数 を減らす	③ 施設の 全体数 を減らす	④ 今すぐ でも減らす	⑤ 施設を 長く使用 する	⑥ 民間の ノウハウ 資金を 活用する	⑦ わからない	⑧ その他	無回答	合計
知っていた (読んだことがある)	5	84	48	16	55	37	6	7	7	265
知っていた (読んではいない)	4	138	93	29	78	55	15	6	6	424
知らなかった	27	638	322	118	345	236	97	31	19	1,833
無回答	5	18	8	4	12	7	4	2	12	72

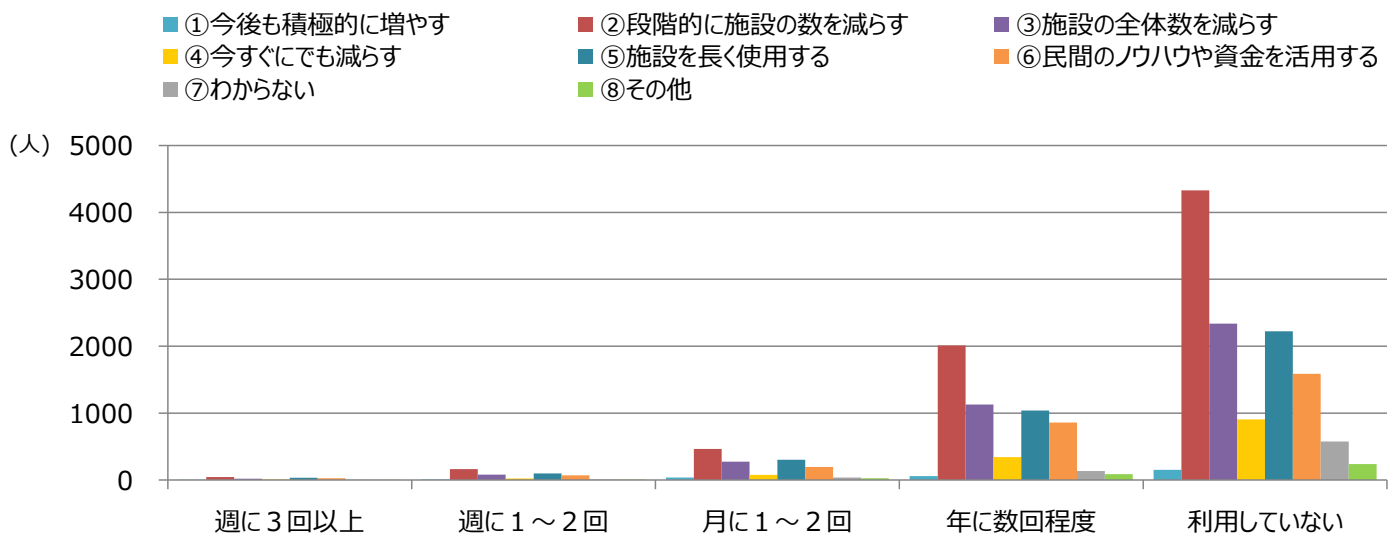
認知度 × 公共施設を今後どうすべきか



■ □ 公共施設を今後どうすべきかを利用回数で分析 □ ■

	① 今後も積極的に増やす	② 段階的に施設の数 を減らす	③ 施設の 全体数 を減らす	④ 今すぐ でも減らす	⑤ 施設を 長く使用 する	⑥ 民間の ノウハウ 資金を 活用する	⑦ わからない	⑧ その他	無回答	合計
週に3回以上	2	45	20	9	33	27	5	3	3	147
週に1～2回	9	161	80	23	99	70	9	10	2	463
月に1～2回	37	463	273	77	303	194	37	26	11	1,421
年に数回程度	60	2,011	1,127	342	1,037	859	134	87	61	5,718
利用していない	151	4,329	2,339	906	2,222	1,586	576	238	117	12,464
無回答	110	893	400	146	716	279	337	50	202	3,133

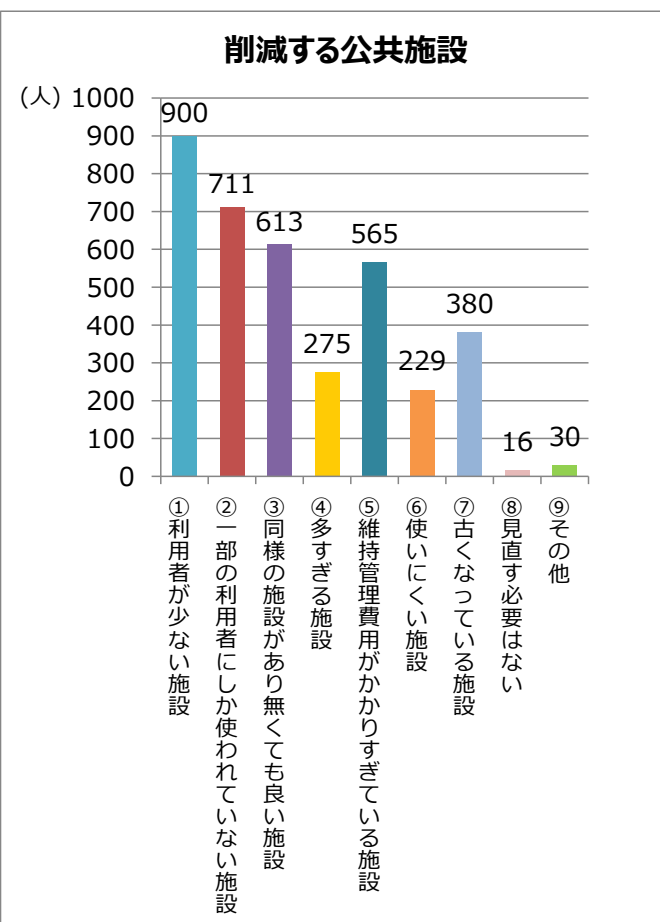
利用回数 × 公共施設を今後どうすべきか



施設数を削減する際の優先順位について

【問11】 公共施設にかかる経費を削減するために施設数を減らす場合、どのような施設から減らしていくべきだと思いますか。
(あてはまるもの3つ以内に○)

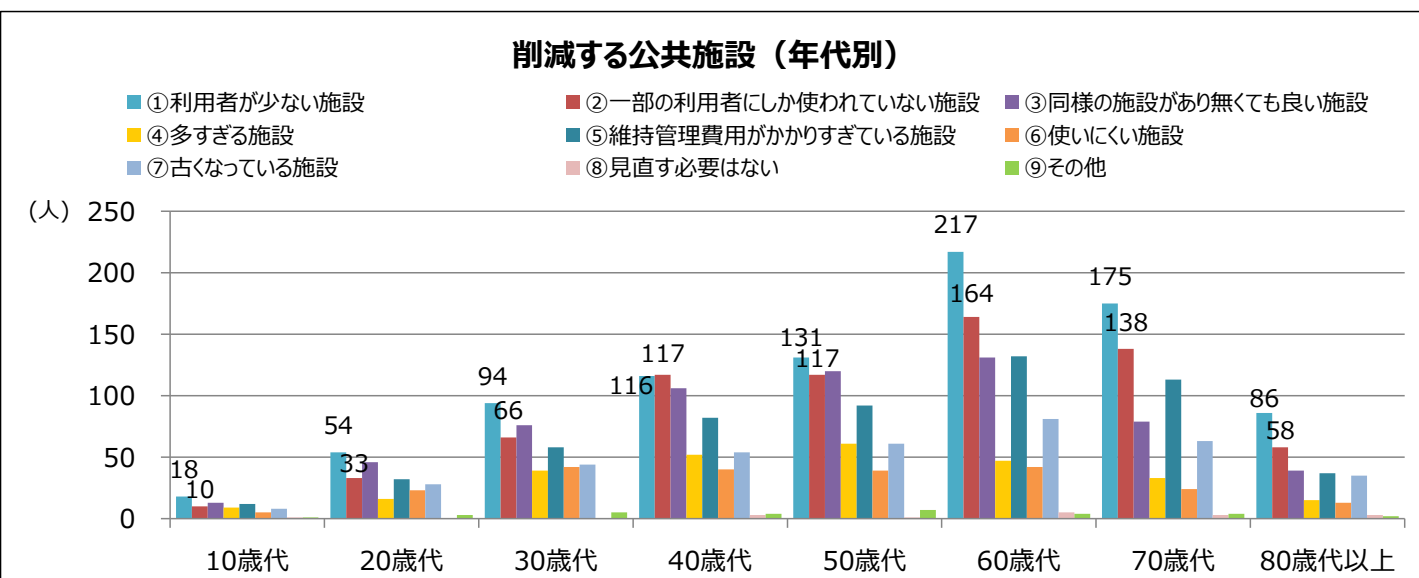
- ①利用者が少ない施設
- ②一部の個人・団体にしか使われていない施設
- ③同じような施設（民間・他自治体を問わず）があるので無くても良い施設
- ④各地域での施設の数を見て多すぎる施設
- ⑤維持管理費用がかかりすぎている施設
- ⑥設備が不足するなど使いにくい施設
- ⑦建物や設備が古くなっている施設
- ⑧見直す必要はない
- ⑨その他



	回答者数	比率(%)
①利用者が少ない施設	900	61.8
②一部の利用者にしか使われていない施設	711	48.8
③同様の施設があり無くても良い施設	613	42.1
④多すぎる施設	275	18.9
⑤維持管理費用がかかりすぎている施設	565	38.8
⑥使いにくい施設	229	15.7
⑦古くなっている施設	380	26.1
⑧見直す必要はない	16	1.1
⑨その他	30	2.1
無回答	117	-

削減する公共施設は、「①利用者が少ない施設」が900人(61.8%)と最も多く、次いで「②一部の利用者しか使われていない施設」が711人(48.8%)、「③同様の施設があり無くても良い施設」が613人(42.1%)、「⑤維持管理費用がかかりすぎている施設」が565人(38.8%)となっています。

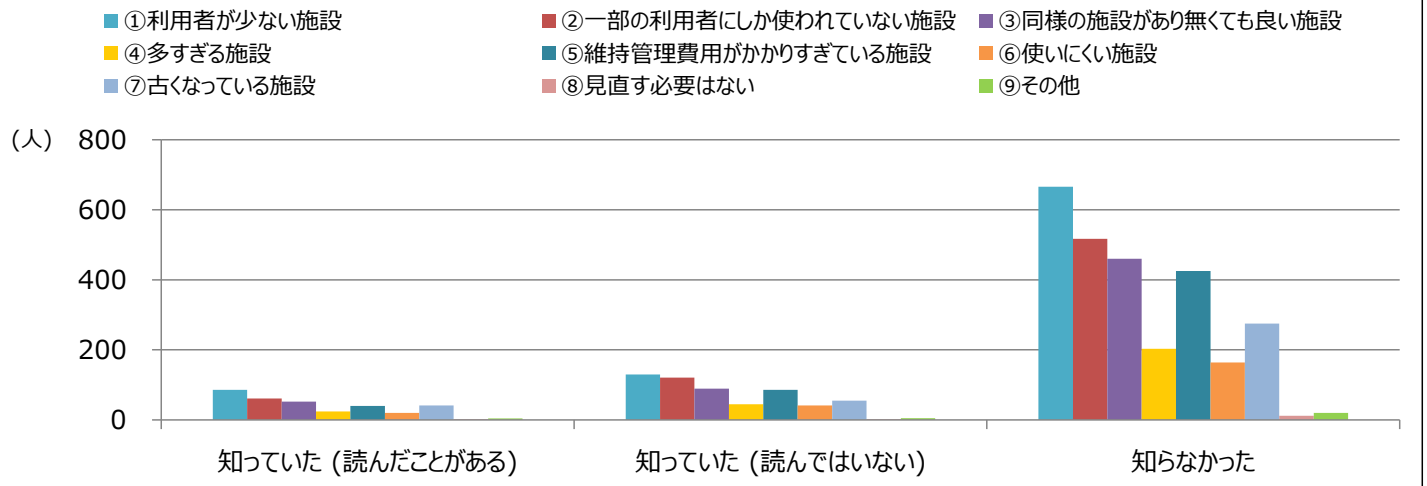
削減する公共施設については、以下のとおり、年代別、認知度別、利用回数別に見ても、傾向は大体似通っています。



■ □ 削減する公共施設を認知度で分析 □ ■

	① 利用者 が少ない 施設	② 一部の 利用者 にしか 使われ ていない 施設	③ 同様の 施設が あり無く ても良い 施設	④ 多すぎる 施設	⑤ 維持管理 費用が かかりすぎ ている施設	⑥ 使いにくい 施設	⑦ 古くなって いる施設	⑧ 見直す 必要は ない	⑨ その他	無回答	合計
知っていた (読んだことがある)	86	61	52	24	40	20	41	2	4	14	344
知っていた (読んではいない)	130	121	89	45	86	41	55	2	5	17	591
知らなかった	666	517	460	203	425	164	275	12	20	71	2,813
無回答	18	12	12	3	14	4	9	0	1	15	88

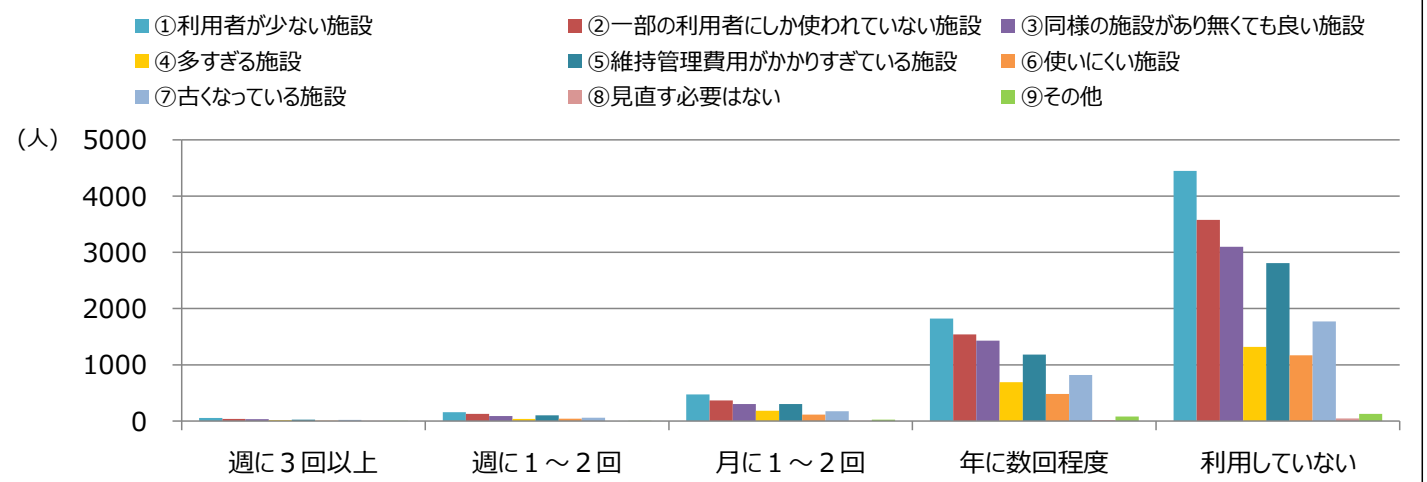
認知度 × 削減する公共施設



■ □ 削減する公共施設を利用回数で分析 □ ■

	① 利用者 が少ない 施設	② 一部の 利用者 にしか 使われ ていない 施設	③ 同様の 施設が あり無く ても良い 施設	④ 多すぎる 施設	⑤ 維持管理 費用が かかりすぎ ている施設	⑥ 使いにくい 施設	⑦ 古くなって いる施設	⑧ 見直す 必要は ない	⑨ その他	無回答	合計
週に3回以上	54	37	34	15	27	7	21	1	2	9	207
週に1～2回	158	126	91	38	103	41	57	0	3	17	634
月に1～2回	475	368	303	181	302	114	174	5	23	58	2,003
年に数回程度	1,821	1,541	1,428	690	1,180	480	819	18	80	206	8,263
利用していない	4,448	3,577	3,101	1,319	2,807	1,170	1,770	46	127	440	18,805
無回答	1,144	750	560	232	666	249	579	74	35	323	4,612

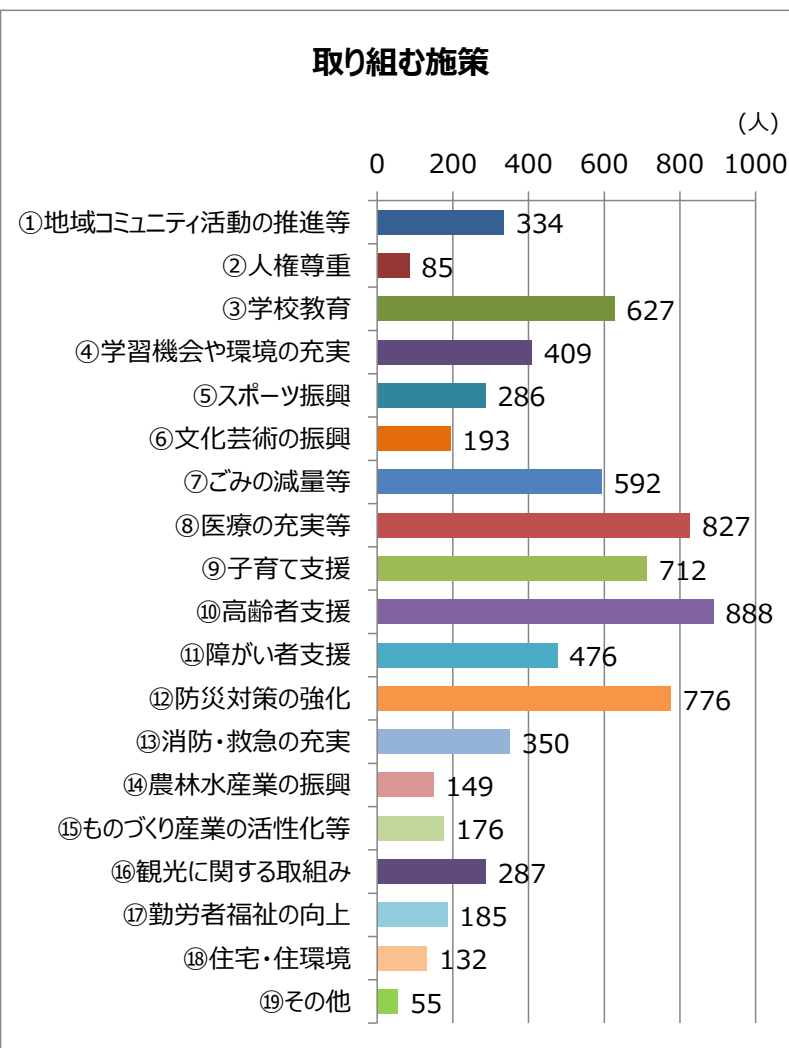
利用回数 × 削減する公共施設



特に力を入れて取り組むべき施策について

【問12】伊勢市が今後、特に力を入れて取り組むべき施策はどれだと考えますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|------------------------|-------------------|
| ①地域コミュニティ活動の推進や市民活動の支援 | ⑪障がい者支援に関する取組み |
| ②人権尊重に関する取組み | ⑫防災対策の強化 |
| ③学校教育に関する取組み | ⑬消防・救急の充実を図る取組み |
| ④市民が学習する機会や環境の充実 | ⑭農林水産業の振興に関する取組み |
| ⑤スポーツ振興に関する取組み | ⑮ものづくり産業の活性化や創業支援 |
| ⑥文化芸術の振興 | ⑯観光に関する取組み |
| ⑦ごみの減量や環境衛生に関する取組み | ⑰勤労者福祉の向上 |
| ⑧医療の充実、健康づくりに関する取組み | ⑱住宅・住環境に関する取組み |
| ⑨子育て支援に関する取組み | ⑲その他 |
| ⑩高齢者支援に関する取組み | |



	回答者数	比率(%)
①地域コミュニティ活動の推進等	334	22.0
②人権尊重	85	5.6
③学校教育	627	41.2
④学習機会や環境の充実	409	26.9
⑤スポーツ振興	286	18.8
⑥文化芸術の振興	193	12.7
⑦ごみの減量等	592	38.9
⑧医療の充実等	827	54.4
⑨子育て支援	712	46.8
⑩高齢者支援	888	58.4
⑪障がい者支援	476	31.3
⑫防災対策の強化	776	51.0
⑬消防・救急の充実	350	23.0
⑭農林水産業の振興	149	9.8
⑮ものづくり産業の活性化等	176	11.6
⑯観光に関する取組み	287	18.9
⑰勤労者福祉の向上	185	12.2
⑱住宅・住環境	132	8.7
⑲その他	55	3.6
無回答	52	-

今後、力を入れて取り組むべき施策は、
「⑩高齢者支援」888人(58.4%)
「⑧医療の充実等」827人(54.4%)
「⑫防災対策の強化」776人(51.0%)
「⑨子育て支援」712人(46.8%)
「③学校教育」627人(41.2%)
の順となっています。

取り組む施策（年代別）



公共施設に関する市民アンケート

—— アンケート調査へのご協力のお願い ——

日頃より市政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

伊勢市では、多くの公共施設(学校、集会施設などの建築物)で老朽化が進み、今後は大規模な改修や建替えが必要となります。しかし、一方で、人口減少、少子高齢化の進行により、厳しい財政運営を強いられており、全ての公共施設を維持していくことは困難な状況となっております。

今回のアンケート調査は、このような課題の解決に向け、市民の皆様の貴重なご意見をお聞きし、今後の公共施設のあり方を検討するための基礎資料の1つとして活用させていただくことを目的としております。

つきましては、ご多用のところ誠に恐れ入りますが、アンケートの趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますよう、よろしくお願いいたします。

平成 28 年 6 月 伊勢市情報戦略局情報調査室

調査の対象

伊勢市にお住まいの平成 13 年 4 月 1 日以前にお生まれの方(今年度 16 歳以上となる方)から無作為で 3,500 人を選ばせていただき、ご協力をお願いしています。

ご回答にあたって

1. 回答にあたっては、まず別紙の『伊勢市の公共施設等の現状と将来見通し』(カラー刷りのもの)をご一読ください。
2. 回答は、アンケートをお届けした封筒の宛先となっているご本人様がお答えください。
※ご本人様の記入が難しい場合は、身近な方が、ご本人様の意向を聞きながら記入いただいても構いません。
3. アンケートは無記名ですので、お名前、ご住所を書いていただく必要はありません。
4. 質問へのご回答は、直接アンケート用紙にご記入ください。
※回答の内容は、個人が特定されることのないよう、統計的に取り扱います。
5. 回答いただいたアンケート用紙は、同封の返信用封筒に入れ、切手を貼らずに郵便ポストに投函してください。
6. **平成 28 年 7 月 19 日(火)**までに投函をお願いします。

お問い合わせ先

伊勢市役所 情報戦略局 情報調査室 行革係
【電話】0596-21-5548 【FAX】0596-21-5522
【e-mail】gyo-kaku@city.ise.mie.jp

問1 あなたの性別をお答えください。(あてはまる番号1つに○)

1. 男性 2. 女性

問2 あなたの年代をお答えください。(あてはまる番号1つに○)

1. 10歳代 2. 20歳代 3. 30歳代 4. 40歳代
5. 50歳代 6. 60歳代 7. 70歳代 8. 80歳代以上

問3 あなたの職業をお答えください。(あてはまる番号1つに○)

1. 会社員・公務員・団体職員 2. パート・アルバイト 3. 自営業(家族従業員含む)
4. 専業主婦・主夫 5. 学生 6. 無職 7. その他()

問4 あなたのお住まいの小学校地域をお答えください。(あてはまる番号1つに○)

1. 進修 2. 修道 3. 有緝 4. 早修 5. 中島 6. 明倫
7. 厚生 8. 神社 9. 大湊 10. 佐八 11. 宮山 12. 浜郷
13. 四郷 14. 豊浜東 15. 豊浜西 16. 北浜 17. 東大淀 18. 城田
19. 上野 20. 二見 21. 今一色 22. 小俣 23. 明野 24. 御園

※小学校地域がわからない場合は、町・丁目をお答えください。

()

問5 伊勢市内にお住まいの期間についてお答えください。(あてはまる番号1つに○)

1. 1年未満 2. 1年以上5年未満 3. 5年以上10年未満 4. 10年以上

※伊勢市内にお住まいの期間が「1年未満」の方は、3ページにお進みください。

問6 伊勢市内に1年以上お住まいの方にお聞きします。

- ① あなたは、過去1年間に伊勢市の公共施設をどの程度利用されましたか。(合計回数を回答)
- ② ①で「年に数回程度」、「利用していない」に○をつけた方にお聞きします。

どのような理由で利用が少なかったのですか。

※施設の種類ごとの詳細は、別紙(カラー刷りのもの)をご覧ください。

施設の種類 主な施設	①利用回数 (○は1つずつ)					②利用が少なかった理由 (あてはまるものすべてに○)							
	週に3回以上	週に1~2回	月に1~2回	年に数回程度	利用していない	利用する必要がない	施設があることを知らない	施設の利用が不便又は遠い	利用できない	自分の希望時間に施設を利用できない	利用料が高い	同じような民間施設を利用している	近くの市町の施設を利用している
集会施設 市民館、地区集会所、教育集会所、二見公民館、小俣公民館、御園公民館、地域の公民館(市の施設)、支所に併設するコミュニティセンター など	1	2	3	4	5	a	b	c	d	e	f	g	h
文化施設 観光文化会館、いせ市民活動センター、生涯学習センター、ハートプラザみその(多目的ホール) など	1	2	3	4	5	a	b	c	d	e	f	g	h
図書館 伊勢図書館、小俣図書館 など	1	2	3	4	5	a	b	c	d	e	f	g	h
博物館等 寶日館、伊勢河崎商人館、古市参宮街道資料館、尾崎琴堂記念館 など	1	2	3	4	5	a	b	c	d	e	f	g	h
スポーツ施設 市営庭球場、倉田山公園野球場、伊勢フットボールヴィレッジ、体育館、プール など ※建物のない施設は含めません。	1	2	3	4	5	a	b	c	d	e	f	g	h
レクリエーション施設・観光施設 神社海の駅、河崎川の駅、宇治浦田観光案内所、二見浦海水浴場(レストハウス・ビーチハウス) など	1	2	3	4	5	a	b	c	d	e	f	g	h
産業系施設 産業支援センター、労働福祉会館、サンライフ伊勢、小俣農村環境改善センター、サンファームおばた、郷の恵「風輪」、民話の駅蘇民	1	2	3	4	5	a	b	c	d	e	f	g	h
保健医療施設 保健センター、小俣各保健福祉会館、離宮の湯、休日・夜間応急診療所 など	1	2	3	4	5	a	b	c	d	e	f	g	h
庁舎等 伊勢市役所本庁舎、二見総合支所、小俣総合支所、御園総合支所、各支所	1	2	3	4	5	a	b	c	d	e	f	g	h

①利用回数は、施設の種類ごとの合計でお答えください。(あてはまる番号1つに○)

「4」または「5」に○をつけた方は、利用が少なかった理由を「a~h」の中から選んでください。(あてはまるものすべてに○)

あくまでも例です。このような施設の利用回数の合計をお答えください。

以下の質問は、下記の太枠内の文章を読んでからお答えください。

公共施設の老朽化問題と公共施設等総合管理計画について

全国の自治体と同様に伊勢市では、昭和 40 年代半ば以降の昭和の時代に、高度経済成長などに伴い、公共施設(学校、集会施設などの建築物)を一斉に建築してきました。

現在、これらの公共施設の老朽化が進んでおり、近い将来、大規模な改修や建て替えを集中して行わなければならない時期を迎えます。

しかし、人口減少や少子高齢化などにより、財政状況は厳しさを増し、全ての公共施設を維持することは困難になっています。

このような背景から、市では、長期的な視点で、公共施設等の総合的で計画的な管理を行うために、「伊勢市公共施設等総合管理計画」を策定(平成 28 年3月)し、市ホームページで公表するとともに、広報いせでお知らせしています。

問7 伊勢市が上記のような公共施設の老朽化問題に取り組むことについて、あなたはどのように思いますか。(あてはまる番号1つに○)

1. 取り組むべきである
2. どちらかといえば取り組むべきである
3. どちらともいえない
4. どちらかといえば取り組む必要はない
5. 取り組む必要はない

問8 あなたは、「伊勢市公共施設等総合管理計画」をご存知でしたか。(あてはまる番号1つに○)

1. 知っていた(読んだことがある)
2. 知っていた(読んではいない)
3. 知らなかった

問9 公共施設の建て替え費用に対する市民の皆様の費用負担について、あなたのお考えに近いものはどれですか。(あてはまる番号1つに○)

1. 負担が増えても、今ある全ての施設の建替えを進める。
2. 負担ができるだけ増えないよう、施設の優先度・重要度を考慮し、施設を統合(複合化・集約化※)や廃止しながら建替えを進める。

※複合化:学校と集会所など、異なる使い方をしている施設を1つの施設にまとめること。

集約化:〇〇公民館と△△公民館など、同じような使い方をしている施設を1つの施設にまとめること。

3. 負担が増えるなら、必ずしも全ての施設を建替えする必要はない。
4. わからない
5. その他 ()

問 10 伊勢市が公共施設の老朽化問題に取り組むにあたり、あなたは公共施設を今後どのようにしていくべきだと思いますか。(あてはまる番号すべてに○)

1. 現在ある施設では、まだ不足しているので、今後も積極的に増やしていくべきである。
2. 施設の必要性を見直し、人口や市の財政力に見合った量まで、統合(複合化・集約化※)や廃止をして、段階的に施設の数減らすべきである。

※複合化:学校と集会所など、異なる使い方をしている施設を1つの施設にまとめること。

集約化:○○公民館と△△公民館など、同じような使い方をしている施設を1つの施設にまとめること。

3. 新たに施設を建てる場合は、統合(複合化・集約化)や廃止をして、施設の全体数を減らすべきである。
4. 現在ある施設は必要以上に多いので、今すぐにでも減らすべきである。
5. 適切な維持管理を行い、施設を長く使用するべきである。
6. 施設の建て替えや管理運営に、民間のノウハウや資金を活用するべきである。
7. わからない
8. その他()

問 11 公共施設にかかる経費を削減するために施設数を減らす場合、どのような施設から減らしていくべきだと思いますか。(あてはまる番号3つ以内に○)

1. 利用者が少ない施設
2. 一部の個人・団体にしか使われていない施設
3. 同じような施設(民間・他自治体を問わず)があるので無くても良い施設
4. 各地域での施設の数を見て多すぎる施設
5. 維持管理費用がかかりすぎている施設
6. 設備が不足するなど使いにくい施設
7. 建物や設備が古くなっている施設
8. 見直す必要はない
9. その他()

問 12 伊勢市が今後、特に力を入れて取り組むべき施策はどれだと考えますか。

(あてはまる番号すべてに○)

※選択肢の括弧内 () は取組みに使用する施設です。

1. 地域コミュニティ活動の推進や市民活動の支援(集会所・公民館・市民活動センターなど)
2. 人権尊重に関する取組み(市民館など)
3. 学校教育に関する取組み(学校)
4. 市民が学習する機会や環境の充実(図書館・生涯学習センターなど)
5. スポーツ振興に関する取組み(スポーツ施設)
6. 文化芸術の振興(文化施設・博物館)
7. ごみの減量や環境衛生に関する取組み(廃棄物投機場・資源ステーションなど)
8. 医療の充実、健康づくりに関する取組み(保健医療施設・病院)
9. 子育て支援に関する取組み(幼稚園・保育所や幼児・児童施設など)
10. 高齢者支援に関する取組み(高齢福祉施設)
11. 障がい者支援に関する取組み(障がい福祉施設)
12. 防災対策の強化(避難施設など)
13. 消防・救急の充実を図る取組み(消防施設)
14. 農林水産業の振興に関する取組み(産業系施設)
15. ものづくり産業の活性化や創業支援(産業系施設)
16. 観光に関する取組み(観光案内所等の観光施設など)
17. 勤労者福祉の向上(産業系施設)
18. 住宅・住環境に関する取組み(公営住宅)
19. その他()

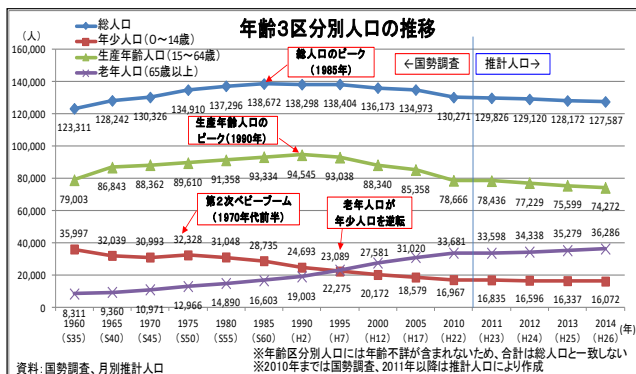
自由意見欄：公共施設に関するご意見がありましたらご記入ください。

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

伊勢市の公共施設等の現状と将来見通し

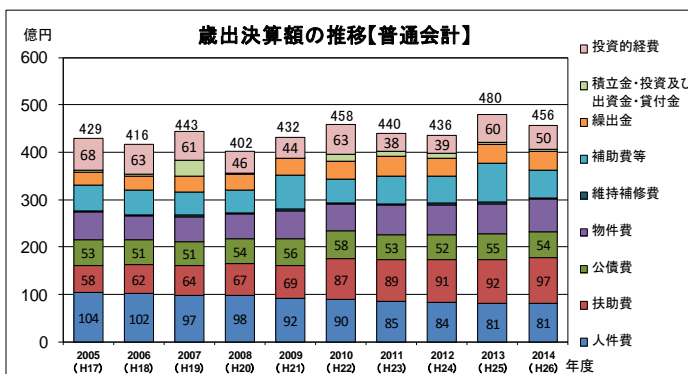
※公共施設等とは、公共施設（学校、集会施設などの建築物）とインフラ資産（道路、橋、上下水道施設など）のことです。

① 人口減少と少子高齢化が進行



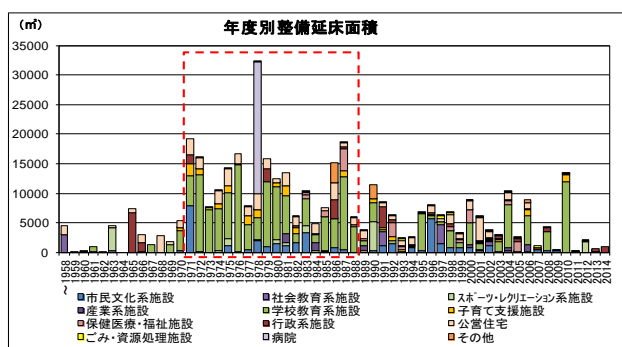
➢ 総人口は、1985年にピークを迎え、その後減少に転じ、既に本格的な人口減少局面に入りつつあります。
 ➢ 年齢3区分別人口では、年少人口（0歳～14歳）と生産年齢人口（15～64歳）は減少が続き、老年人口（65歳以上）は増加が続いています。

② 厳しい財政状況

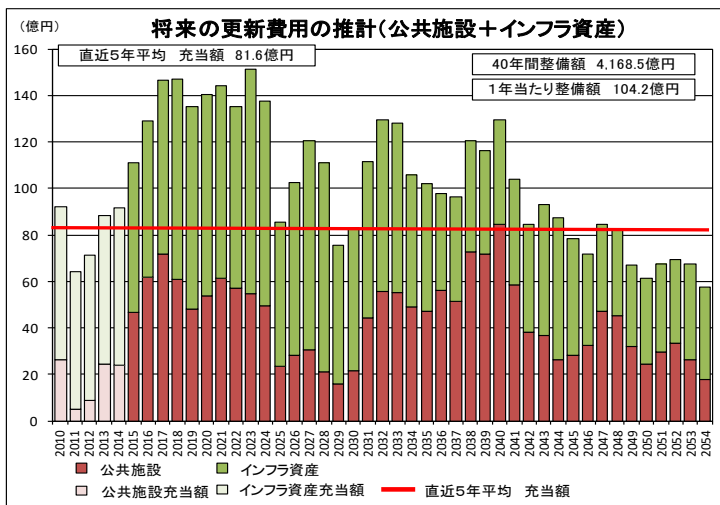


➢ 将来の人口推計では、今後も老年人口比率の増加が推察されるため、そのことが財政全般を圧迫することが見込まれ、公共施設等にかかる経費の確保が困難になることが想定されます。

③ 公共施設の現状と更新等の見通し



➢ 昭和40年代半ば以降の昭和の時代（1971年から1988年）に集中して建築されており、現状のまま持ち続けると更新（建て替え）時期を集中的に迎えます。公共施設の重点化や優先順位付けが必要となります。



➢ 現有する公共施設をそのまま持ち続けた場合の更新費用と、インフラ資産に対し長寿命化対策等を実施しないと仮定した場合の更新等費用を合計すると、2015年から2054年までの40年間では約4,169億円が必要となり、1年当たりでは約104億円となります。

これらのことから 分かることは・・・

課題の基本認識

- ✓ 現状のままでは、更新時期を集中的に迎え、財政負担が懸念される
- ✓ 将来、公共施設等の更新は財政上の大きな課題となる
- ✓ 将来の公共施設等のあり方を確立することが求められる
- ✓ それには、公共施設等の総合的かつ計画的な管理が必要である

伊勢市公共施設等総合管理計画から抜粋

公共施設一覧 (平成27年4月1日時点の状況です)

分類		施設名 ()内の数字は施設数
大分類	中分類	
市民文化系施設	集会施設	市民館(3)、地区集会所(6)、教育集会所(3)、旧中央公民館((3)二見公民館、小俣公民館、御園公民館)、小俣北部公民館、自治会指定管理施設(41)、支所に併設するコミュニティセンター(9)
	文化施設	観光文化会館、いせ市民活動センター、伊勢市生涯学習センター、二見生涯学習センター、小俣図書館生涯学習施設、ハートプラザみその(多目的ホール)
社会教育系施設	図書館	伊勢図書館、小俣図書館、その他各分室(支所併設コミュニティセンター、伊勢市生涯学習センター、市立伊勢総合病院、二見公民館、ハートプラザみその)
	博物館等	賈日館、伊勢河崎商人館、古市参宮街道資料館、尾崎号堂記念館、山田奉行所記念館
スポーツ・レクリエーション系施設	スポーツ施設	市営庭球場、倉田山公園野球場、伊勢フットボールヴィレッジ、市民武道館、二見体育館、二見グラウンドミーティングセンター、小俣児童体育館、小俣総合体育館、やすらぎ公園プール、御園B&G海洋センター ※建物のない施設は含めていません。
	レクリエーション施設・観光施設	神社海の駅、河崎川の駅、二軒茶屋川の駅、宇治浦田観光案内所、伊勢市駅手荷物預かり所、二見浦海水浴場(レストハウス・ビーチハウス)
産業系施設	産業系施設	産業支援センター、労働福祉会館、サンライフ伊勢、小俣農村環境改善センター、農産物直売所サンファームおばた、郷の恵「風輪」、民話の駅蘇民
学校教育系施設	学校	小学校(24)、中学校(12)
	その他教育施設	中学校給食共同調理場
子育て支援施設	幼稚園・保育所・認定こども園	幼稚園(10)、保育所(13)、認定こども園(1) ※幼稚園10園のうち、5園は休園、1園は廃止 ※保育所は、13園のうち、1園は廃止
	幼児・児童施設	児童センター(3)、児童館(2)、御園こどもプラザ、御園こども広場(ハートプラザみその内)
保健医療・福祉施設	高齢福祉施設	老人福祉センター(福祉健康センター内)、二見老人福祉センター、合同会館(小俣老人福祉会館)、御園老人福祉センター(ハートプラザみその内)、みなとデイサービスセンター、二見デイサービスセンター、御園デイサービスセンター(ハートプラザみその内)、介護予防拠点施設なごみのやかた
	障がい福祉施設	身体障害者福祉センター(福祉健康センター内)、重度身体障害者デイサービスセンター「くじら」、ひまわり(福祉健康センター内)、工房そみんな、小俣さくら園、御園しらぎく園、おおぞら児童園
	保健医療施設	中央保健センター(福祉健康センター内)、小俣保健センター、御園保健センター(ハートプラザみその内)、小俣保健福祉会館(6)、離宮の湯、休日・夜間応急診療所(福祉健康センター内)、歯科休日応急診療所(福祉健康センター別棟)
行政系施設	庁舎等	伊勢市役所本庁舎、二見総合支所、小俣総合支所、御園総合支所、各支所
	消防・防災施設	消防本部・消防署、分署(3)、出張所(1)、車庫(39)、倉庫(2)、防災施設(津波避難施設、防災倉庫等)(58)
公営住宅	公営住宅	市営住宅(39)、特定公共賃貸住宅(1)、改良住宅(2)、集会所(2)
ごみ・資源処理施設	ごみ・資源処理施設	資源拠点ステーション(19)、資源ステーション(132)、小俣廃棄物リサイクルセンター、資源集積施設、伊勢廃棄物投棄場、小俣廃棄物投棄場
病院	病院	市立伊勢総合病院

※伊勢市公共施設等総合管理計画から抜粋